

取扱説明書

このたびは弊社の製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本書では次の項目を説明しています。

本書をお読みにする前に	2
1. 必ずお読みください	8
はじめに	8
疲れないパソコン利用方法	10
各部の名称と働き	11
設置に関する注意	15
CD-ROM ドライブの取り付け	16
周辺機器との接続	18
電源を入れる	21
ご購入時のセットアップ	23
電源を切る	27
2. 必要に応じてお読みください	28
ご購入時の設定に戻す	28
リカバリ／再インストール概要	28
リカバリ操作 (Windows XP)	29
再インストール操作 (Windows 2000)	30
Windows Update について	35
お問い合わせ先	37

FMVマニュアルについて

機器の取り付け、ソフトウェア、およびトラブルシューティングなどの内容は、富士通パソコン情報サイトFMWORLD.NETのビジネス向けホームページ (<http://www.fmworld.net/biz/>) 内の『FMVマニュアル』に記載されています。

本書をお読みになる前に

安全にお使いいただくために

このマニュアルには、本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。本製品をお使いになる前に、このマニュアルを熟読してください。特に、「安全上のご注意」と添付の『安全上のご注意』をよくお読みになり、理解されたうえで本製品をお使いください。また、『安全上のご注意』およびこのマニュアルは、本製品の使用中にいつでもご覧になれるよう大切に保管してください。

保証書について

- ・保証書は、必ず必要事項を記入し、内容をよくお読みください。その後、大切に保管してください。
- ・修理を依頼される場合には、必ず保証書をご用意ください。
- ・保証期間内に、正常な使用状態で故障した場合は、無料で修理いたします。
- ・保証期間内でも、保証書の提示がない場合や、天災あるいは無理な使用による故障の場合などには、有料での修理となります。ご注意ください（詳しくは、保証書をご覧ください）。
- ・修理後は、本製品の内容が修理前とは異なり、ご購入時の状態や、何も入っていない状態になっている場合があります。大切なデータは、フロッピーディスクなどに複写して、保管しておいてください。
- ・本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の保有期間は、製造終了後5年です。

使用許諾契約書

富士通株式会社（以下弊社といいます）では、本製品にインストール、もしくは添付されているソフトウェア（以下本ソフトウェアといいます）をご使用いただく権利をお客様に対して許諾するにあたり、下記「ソフトウェアの使用条件」にご同意いただくことを使用の条件とさせていただきます。なお、お客様が本ソフトウェアのご使用を開始された時点で、本契約にご同意いただいたものといたしますので、本ソフトウェアをご使用いただく前に必ず下記「ソフトウェアの使用条件」をお読みいただきますようお願い申し上げます。ただし、本ソフトウェアのうちの一部ソフトウェアに別途の「使用条件」もしくは「使用許諾契約書」等が、添付されている場合は、本契約に優先して適用されますので、ご注意ください。

ソフトウェアの使用条件

1. 本ソフトウェアの使用および著作権
お客様は、本ソフトウェアを、日本国内において本製品でのみ使用できます。なお、お客様は本製品のご購入により、本ソフトウェアの使用権のみを得るものであり、本ソフトウェアの著作権は引き続き弊社または開発元である第三者に帰属するものとします。
2. バックアップ
お客様は、本ソフトウェアにつきまして、1部の予備用（バックアップ）媒体を作成することができます。
3. 本ソフトウェアの別ソフトウェアへの組み込み
本ソフトウェアが、別のソフトウェアに組み込んで使用されることを予定した製品である場合には、お客様はマニュアル等記載の要領に従って、本ソフトウェアの全部または一部を別のソフトウェアに組み込んで使用することができます。
4. 複製
(1) 本ソフトウェアの複製は、上記「2.」および「3.」の場合に限定されるものとします。
本ソフトウェアが組み込まれた別のソフトウェアについては、マニュアル等で弊社が複製を許諾していない限り、予備用（バックアップ）媒体以外には複製は行わないでください。
ただし、本ソフトウェアに複製防止処理がほどこしてある場合には、複製できません。
(2) 前号によりお客様が本ソフトウェアを複製する場合、本ソフトウェアに付されている著作権表示を、変更、削除、隠蔽等しないでください。
5. 第三者への譲渡
お客様が本ソフトウェア（本製品に添付されている媒体、マニュアルならびに予備用バックアップ媒体を含みます）を第三者へ譲渡する場合には、本ソフトウェアがインストールされたパソコンとともに本ソフトウェアのすべてを譲渡することとします。なお、お客様は、本製品に添付されている媒体を本製品とは別に第三者へ譲渡することはできません。
6. 改造等
お客様は、本ソフトウェアを改造したり、あるいは、逆コンパイル、逆アセンブルをともなうリバースエンジニアリングを行うことはできません。
7. 保証の範囲
(1) 弊社は、本ソフトウェアとマニュアル等との不一致がある場合、本製品をご購入いただいた日から90日以内に限り、お申し出をいただければ当該不一致の修正に関して弊社が必要と判断した情報を提供いたします。
また、本ソフトウェアの記録媒体等に物理的な欠陥（破損等）等がある場合、本製品をご購入いただいた日から1ヶ月以内に限り、不良品と良品との交換に応じるものとします。
(2) 弊社は、前号に基づき負担する責任以外の、本ソフトウェアの使用または使用不能から生じるいかなる損害（逸失利益、事業の中断、事業情報の喪失その他の金銭的損害を含みますが、これに限られないものとします）に関しても、一切責任を負いません。たとえ、弊社がそのような損害の可能性について知らされていた場合も同様とします。
(3) 本ソフトウェアに第三者が開発したソフトウェアが含まれている場合においても、第三者が開発したソフトウェアに関する保証は、弊社が行う上記(1)の範囲に限られ、開発元である第三者は本ソフトウェアに関する一切の保証を行いません。
8. ハイセイフティ
本ソフトウェアは、一般事務用、パーソナル用、家庭用などの一般的な用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本ソフトウェアを使用しないものとします。ハイセイフティ用途とは、下記の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

記

原子力核制御、航空機飛行制御、航空交通管制、大量輸送運行制御、生命維持、兵器発射制御など

富士通株式会社

保守修理サービスのご案内

弊社では、保守修理サービスとして、以下の「SupportDesk」を用意しております。
お客様のご希望、ご利用状況に合わせたサービスをお選びの上、「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」またはご購入元にお申し込みください。

■ Support Desk

ハード障害発生時の修理を行う「Product 基本/基本 24」に加え、お客様のご要望に応じて2つのオプションメニューをご用意しております。また、価格面でよりお得な「保証アップグレードバック」や「ビックアップ&デリバリ」もございます。

- ・ **Product 基本/基本 24**：オンサイト修理、情報提供
専用窓口をご用意し、障害発生時のスムーズな受付を行ないます。
受付は [基本]：月曜日～金曜日の 9:00～19:00（祝日、年末年始を除く）、[基本 24]：24 時間 365 日
受付後、専任スタッフがお客様先に訪問し、速やかに修理を行います。
障害対応履歴については、お客様専用ホームページにてご確認頂けます。
- ・ **PC ソフトサポート（オプション）**：ソフト QA 対応
パソコンのブレイクストールソフトウェアについて QA 対応を行います。
- ・ **PC 定期点検（オプション）**：定期点検
定期的に次のような予防保守を行います。
- 点検、整備、摩耗部品交換（消耗品は対象外）
- 清掃、調整等
- ・ **保証アップグレードバック**：オンサイト修理
保証期間分の割引価格をあらかじめ想定したお得な修理サービスのバック商品です。（各3、4、5年バック）
商品添付の「お客様登録票」を発送するだけで、すぐにサービススタートが可能です。
- ・ **ビックアップ&デリバリ**：引取修理
訪問型修理ではなく、お客様の修理依頼にもとづきパソコンの引取修理を行なうサービスです。
「Product 基本」よりも割安な価格設定を行っております。
9：00～16：00 受付 当社翌営業日 AM 中（9：00～12：00）に引取
16：00～19：00 受付 当社翌営業日 PM 中（12：00～21：00）に引取
引取後、4～6 営業日で修理・返却します。
ただし、障害の程度によってはそれ以上の期間を要することもあります。

マイクロソフト製品サービスバック

Microsoft® Windows® をご利用のお客様がより安定したシステムを運用していく上で、マイクロソフト社はサービスバックを提供しております (<http://www.microsoft.com/japan/>)。

お客様は、最新のサービスバックをご利用いただくことにより、その時点でマイクロソフト社が提供する Microsoft® Windows® にて最も安定したシステムを構築できます。

したがって、当社としては、最新のサービスバックをご利用いただくことを基本的には推奨いたします。

ただし、お客様の環境によっては、サービスバック適用により予期せぬ不具合が発生する場合がありますので、ご利用前にはサービスバックの [Readme.txt](#) を必ずご確認ください。

また、万一、インストールに失敗したことを考慮し、システムのバックアップを取ることを推奨いたします。

データのバックアップについて

本製品に記録されたデータ（基本ソフト、アプリケーションソフトも含む）の保全については、お客様ご自身でバックアップなどの必要な対策を行ってください。また、修理を依頼される場合も、データの保全については保証されませんので、事前にお客様ご自身でバックアップなどの必要な対策を行ってください。ただし、お客様の環境によっては、保証書の記載事項以外は、弊社ではいかなる理由においても、それに伴う損害やデータの保全・修復などの責任を一切負いかねますのでご了承ください。

添付の CD-ROM などは大切に保管してください

これらのディスクは、本パソコンに入っているソフトウェアをご購入時と同じ状態に戻すときに必要です。

本製品のハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用などの一般的用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。

お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。

ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

- ・ 原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など

注意

本製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。本製品を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

- ・ 本製品には、有寿命部品（LCD、HDD 等）が含まれています。
有寿命部品の交換時期の目安は、使用頻度や条件により異なりますが、1 日約 8 時間のご使用で約 5 年です。なお、この期間はあくまでも目安であり、故障しないことや無料修理をお約束するものではありません。
長時間連続使用等、ご使用状態によっては早期に部品交換が必要となる場合があります。
- ・ 長時間連続使用される場合は、ミラーディスクのご使用をお薦めします。

本製品の使用環境は、温度 5～45℃/湿度 20～85%RH（動作時）、温度 -10～60℃/湿度 8～90%RH（非動作時）です（ただし、動作時、非動作時とも結露しないこと）。

本製品は、国内での使用を前提に作られています。海外での使用につきましては、お客様の責任で行っていただくようお願いいたします。

本製品は日本国内仕様であり、海外での保守サービスおよび技術サポートは行っておりません。

本製品には、“外国為替及び外国貿易法”に基づく特定貨物が含まれています。したがって、本製品を輸出する場合には、同法に基づく許可が必要となる場合があります。

本製品は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置などを使用されることをお勧めします。
(社団法人電子情報技術産業協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示)

本製品は社団法人電子情報技術産業協会が定める高調波ガイドラインの適用対象外です。

本製品の構成部品（プリント基板、CD/DVD ドライブ、ハードディスク、フロッピーディスクドライブなど）には、微量の重金属（鉛、クロム）や化学物質（アンチモン）が含有されています。

エネルギー消費のお知らせ


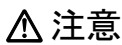
- 定格電流：最大 6.5A(アウトレット最大 2A を含む)
- 電源 OFF 時の消費電力：5W 以下
(電源 OFF 時のエネルギー消費を回避するには、AC ケーブルの電源プラグをコンセントから抜いてください)
- 動作時の最大消費電力、最小消費電力
 - ・ 最大消費電力：約 260W
 - ・ 最小消費電力：約 72W
(ご使用になる機器構成により値は変動します)

注：ディスプレイの電源をアウトレットから供給しない場合の電力値です。




警告表示について

■ 警告表示

本書では、いろいろな絵表示を使っています。これは本製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を、未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ、お読みください。

	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。
	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、および物的損害のみが発生する可能性があることを示しています。

また、危害や損害の内容がどのようなものかを示すために、上記の絵表示と同時に次の記号を使っています。

	△で示した記号は、警告・注意を促す内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容が示されています。
	⊘で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な禁止内容が示されています。
	●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容が示されています。

安全上のご注意

FMV を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。本製品をお使いになる前に、必ずお読みになり、正しく安全に、大切に取扱ってください。

■ 電源・電圧・接続について

⚠ 警告



- 添付の電源ケーブル以外は使用しないでください。
また、添付の電源ケーブルを他の製品に使用しないでください。
感電・火災の原因となります。

■レーザーの安全性について

本製品に添付されている CD-ROM ドライブは、レーザーを使用しています。

クラス 1 レーザー製品

CD-ROM ドライブは、クラス 1 レーザー製品について規定している米国の保健福祉省連邦規則（DHHS 21 CFR）Subchapter J に準拠しています。また、クラス 1 レーザー製品の国際規格である（IEC 60825-1）、CENELEC 規格（EN 60825-1）および、JIS 規格（JISC6802）に準拠しています。

⚠ 注意



- CD-ROM ドライブをマニュアルに記載された説明や手順以外の方法で使用すると、レーザー放射の危険があります。また、CD-ROM ドライブを開くと、危険なレーザーを浴びる可能性があります。ドライブを絶対に分解しないでください。

一部の CD-ROM ドライブには、クラス 3A またはクラス 3B のレーザー・ダイオードを使用しています。



- CD-ROM ドライブのカバーを開くとクラス 3A またはクラス 3B のレーザーが放射されます。レーザー光線を見つめたり、光学機器を使って直接見たりしないでください。またレーザー放射を直接浴びないようにしてください。

本書の表記

■電源プラグとコンセント形状の表記について

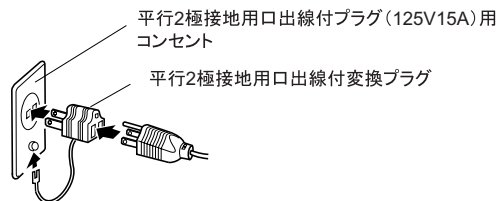
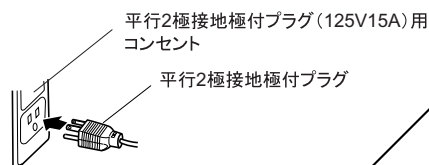
本パソコンに添付されている電源ケーブルの電源プラグは「平行 2 極接地極付プラグ」です。接続先のコンセントには「平行 2 極接地極付プラグ（125V15A）用コンセント」または「平行 2 極接地用口出線付プラグ（125V15A）用コンセント」をご利用ください。

「平行 2 極接地用口出線付プラグ（125V15A）用コンセント」をご利用の場合は、「平行 2 極接地用口出線付変換プラグ」を取り付けてください。

※「接地用口出し線」とはアース線、「接地極」とはアースネジのことです。




本文中では、次のように略して表記します。

名称	本文中の表記
平行 2 極接地極付プラグ	電源プラグ
平行 2 極接地極付プラグ（125V15A）用コンセント	コンセント
平行 2 極接地用口出線付プラグ（125V15A）用コンセント	2 ピンのコンセント
平行 2 極接地用口出線付変換プラグ	コンセント変換コネクタ



■本文中の記号

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

記号	意味
	お使いになる際の注意点や、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
	操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。
	参照ページや参照マニュアルを示しています。

■キーの表記と操作方法

本文中のキーの表記は、キーボードに書かれているすべての文字を記述するのではなく、説明に必要な文字を次のように記述しています。

例：【Ctrl】キー、【Enter】キー、【→】キーなど

また、複数のキーを同時に押す場合には、次のように「+」でつないで表記しています。

例：【Ctrl】+【F3】キー、【Shift】+【↑】キーなど

■コマンド入力（キー入力）

本文中では、コマンド入力を次のように表記しています。

```
diskcopy a: a:
  ↑  ↑
```

- ・↑の箇所のように文字間隔を空けて表記している部分は、【Space】キーを1回押してください。
また、上記のようなコマンド入力を英小文字で表記していますが、英大文字で入力してもかまいません。
- ・CD-ROM ドライブのドライブ名を、【CD-ROM ドライブ】で表記しています。入力の際は、お使いの環境に合わせて、ドライブ名を入力してください。

【CD-ROMドライブ】：%setup.exe

■連続する操作の表記

本文中の操作手順において、連続する操作手順を、「→」でつなげて記述しています。

例：「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」をポイントし、「アクセサリ」をクリックする操作

↓

「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」の順にクリックします。

また、本文中の操作手順において、操作手順の類似しているものは、あわせて記述しています。

例：「スタート」ボタン→「(すべての) プログラム」→「アクセサリ」の順にクリックします。

■BIOS セットアップの表記

本文中の BIOS セットアップの設定手順において、各メニューやサブメニューまたは項目を、「-」（ハイフン）でつなげて記述する場合があります。

例：「Security」の「Setup Prompt」の項目を「Enabled」に設定します。

↓

「Security」 - 「Setup Prompt」：Enabled

■画面例およびイラストについて

表記されている画面およびイラストは一例です。お使いの機種やモデルによって、実際に表示される画面やイラスト、およびファイル名などが異なることがあります。また、このマニュアルに表記されているイラストは説明の都合上、本来接続されているケーブル類を省略していることがあります。

■製品の呼び方

本文中の製品名称を、次のように略して表記します。

なお、本書ではお使いの機種、または OS 以外の情報もありますが、ご了承ください。

製品名称	本文中の表記		
FMV-7306FA9	本パソコン/パソコン本体		
FMV-7266FA9			
Microsoft® Windows® XP Professional	Windows XP Professional	Windows XP	Windows 注
Microsoft® Windows® 2000 Professional	Windows 2000		

注：Windows XP/2000 のように併記する場合があります。

■お問い合わせ先／URL

本文中に記載されているお問い合わせ先やインターネットの URL アドレスは 2004 年 11 月現在のものです。変更されている場合は、「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」へお問い合わせください（→ P.37）。

警告ラベル／注意ラベル

本製品には警告ラベルおよび注意ラベルが貼ってあります。

警告ラベルや注意ラベルは、絶対にはがしたり、汚したりしないでください。

リサイクルについて

■本製品の廃棄について

本製品（付属品を含む）を廃棄する場合は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の規制を受けます。

●法人・企業のお客様へ

本製品を廃棄する場合は、産業廃棄物の扱いとなりますので、産業廃棄物処分業の許可を取得している会社に処分を委託する必要があります。弊社では、「富士通りサイクル受付センター」を用意し、お客様の廃棄のお手伝いをしておりますのでご利用ください。

詳しくは、ホームページ（<http://eco.fujitsu.com/jp/>）の「富士通りサイクルシステム」をご覧ください。

●個人のお客様へ

個人のお客様は、上記「富士通りサイクル受付センター」をご利用いただけません。本製品を廃棄する場合は、必ず弊社専用受付窓口「富士通パソコンリサイクル受付センター」までお申込みください。

受付窓口の電話番号、お申込み方法などについては AzbyClub ホームページ（<http://azby.fmworld.net/recycle/>）をご覧ください。

重要

- ▶ 本製品の廃棄時は、専用のソフトウェアなどを使用して、ハードディスク内のデータを消去することをお勧めします。消去しないまま廃棄すると、悪意のある人により、ハードディスク内のデータが読み取られ、予期しない用途に利用されるおそれがあります。詳しくは、『ハードウェアガイド』－「パソコン本体廃棄時のセキュリティ」をご覧ください。

FMV マニュアルの参照

機器の取り付け、ソフトウェア、およびトラブルシューティングなどの内容は、富士通パソコン情報サイト FMWORLD.NET のビジネス向けホームページ（<http://www.fmworld.net/biz/>）内の『FMV マニュアル』に記載されています。

商標および著作権について

Microsoft、Windows、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
インテル、Intel および Pentium は、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標または登録商標です。

その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。
その他の各製品は、各社の著作物です。

All Rights Reserved, Copyright© FUJITSU LIMITED 2003-2004
画面の使用に際して米国 Microsoft Corporation の許諾を得ています。

1. 必ずお読みください

はじめに

梱包物の確認

『梱包物一覧』をご覧になり、添付品をご確認ください。
足りない部品などがあった場合は、できるだけ早く、ご購入元にご連絡ください。

POINT

- ▶ お問い合わせの際に必要となりますので、パソコン本体の見やすい場所に貼り付けてください。

添付のマニュアルについて

本パソコンには次のマニュアルが添付されています。

□取扱説明書（本書）

パソコン本体の各部の名称、電源の入れ方など、『ハードウェアガイド』から抜粋した内容を記載しています。なお、お使いの OS 以外の情報もありますが、ご了承ください。

□オンラインマニュアル（pdf）

PDF 形式のファイルとして、『ハードウェアガイド』、『ソフトウェアガイド』を、富士通パソコン情報サイト FMWORLD.NET のビジネス向けホームページ (<http://www.fmworld.net/biz/>) 内の『FMVマニュアル』に記載しています。

Windows 2000 をお使いの場合、「アプリケーション CD / マニュアル CD」にも収録しています。

注)『ソフトウェアガイド』には、製品名として「FMV-W601」と記載されています。「FMV-W601」を「FMV-7306FA9/7266FA9」と読み替えてください。
また、本文中にはカスタムメイドオプションを選択した場合の記載がありますが、本パソコンでは対象外になります。あらかじめご了承ください。
Windows2000 をお使いの場合は、再インストールの手順など一部読み替えていただく必要があります。詳しくは、「マニュアルの読み替えについて」(→ P.8) をご覧ください。

オンラインマニュアルの見かた

本書に記載されていない内容は、オンラインマニュアル(pdf)に記載されています。オンラインマニュアル(pdf)は、富士通パソコン情報サイト FMWORLD.NET のビジネス向けホームページ (<http://www.fmworld.net/biz/>) 内の『FMV マニュアル』から参照することができます。

Windows 2000 をお使いの場合は、「アプリケーション CD / マニュアル CD」内の Manual.pdf から参照することができます。

POINT

- ▶ 周辺機器の取り付けなど、パソコン本体の電源を切ってから行う操作は、該当するページを事前に印刷するか、他のパソコンで参照してください。

マニュアルの読み替えについて

Windows 2000 をお使いの場合、『ソフトウェアガイド』の記載を読み替えていただく必要があります。

本パソコンをお使いになる前に次の内容をよくお読みになり、正しくお使いいただきますようお願いいたします。

■セットアップ後の設定について

「第1章 機能」－「セットアップ後」では、セットアップ終了後の設定について説明しておりますが、本パソコンは設定を行う必要はありません。

■ソフトウェアについて

「第2章 ソフトウェア」－「ソフトウェア一覧」－「各ソフトウェアの紹介」では、各ソフトウェアの概要、およびインストール方法などについて記載しております。
次の項目を読み替えてください。

□Microsoft Windows 2000 Professional (SP3)

本パソコンには、あらかじめ SP4 が適用されています。SP3 をインストールする必要はありません。
また、SP4 はアンインストールすることはできませんのでご了承ください。

SP4 について詳しくは、「スタート」メニューに登録されているヘルプ、または本パソコンに添付の『Windows 2000 Professional クイックスタートガイド』をご覧ください。

POINT

- ▶ Windows 2000 のバージョン情報は、次の手順で確認することができます。
 1. 「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックします。
 2. 「ヘルプ」メニュー→「バージョン情報」の順にクリックします。

□DirectX9.0

本パソコンには、DirectX9.0a が適用されています。
DirectX9.0 と記載されている箇所は、DirectX9.0a と読み替えてください。

□ViewPoint Media Player のインストール

「□概要」以下を、次のとおり読み替えてください。

富士通パソコン情報サイト FMWORLD.NET (<http://www.fmworld.net/>) に用意されている、Web3D カタログを表示させることができます。

●インストール方法

ご購入時にはViewpoint Media Playerがインストールされています。

1. 「ドライバーズ CD」をセットします。
2. 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
3. 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。

```
[CD-ROM ドライブ]:¥App¥Vpoint
¥VMPFull|Install_3_0_8_201.exe
```

この後は、メッセージに従って操作します。

□3 モードフロッピーディスクドライバ

「□概要」以下を、次のとおり読み替えてください。

1.44MB、1.23MB、1.2MB、720KB、640KB のフロッピーディスク (DOS/V フォーマット済み) を読み書きできる 3 モード対応のフロッピーディスクドライブ用ドライバです。

インストール方法について詳しくは、本マニュアルの「ドライバとアプリケーションのインストール」－「3 モードフロッピーディスクドライブのインストール」(→P.34) をご覧ください。

□ハードディスクデータ消去

「□概要」以下を、次のとおり読み替えてください。

ハードディスク内のデータを削除します。詳しくは、『ハードウェアガイド』の「セキュリティ」－「パソコンの廃棄・譲渡時のハードディスク上のデータ消去に関するご注意」をご覧ください。

●留意事項

- ・本ツールでは、本パソコンに内蔵されている基本ハードディスクのみを対象としています。そのため、増設したハードディスクを消去することはできません。
- ・必要なデータは、バックアップしてください。
- ・データ消去終了まで、数時間かかります。
- ・実行中は電源を切らないでください。ハードディスクが壊れる可能性があります。
- ・周辺機器を取り付けている場合は、それらを一度取り外し、ご購入の状態に戻してください。
- ・ご購入時に取り付けられている内蔵ハードディスクのみ消去できます。

●用意するもの

- ・ハードディスクデータ消去フロッピー

POINT

▶ ハードディスクデータ消去フロッピーは、次の手順で作成することができます。

1. MS-DOS 起動フロッピーを用意します。
2. 「ドライバーズ CD」と MS-DOS 起動フロッピーをセットします。
3. 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
4. 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。

```
[CD-ROM ドライブ]:¥other¥hdclear
```

5. 「Hdclear」フォルダが開きます。
6. 「Hdclear」フォルダ内の「hdclear.exe」を、MS-DOS 起動フロッピーにコピーします。
7. 「ドライバーズ CD」と MS-DOS 起動フロッピーを取り出してから、本パソコンの電源を切ります。

以上で、ハードディスクデータ消去フロッピーの作成が完了しました。

●ハードディスクデータ消去手順

1. ハードディスクデータ消去フロッピーをセットして、本パソコンの電源を入れます。
コマンドプロンプトが表示されます。
2. 次のように入力し、【Enter】キーを押します。
hdclear.exe
3. 注意事項が表示されます。

この後は、メッセージに従って操作してください。

「データ消去が完了しました。」と表示されたら、ハードディスクデータ消去フロッピーを取り出し、本パソコンの電源を切ります。

■ドライバについて

「第2章 ソフトウェア」－「ドライバ」では、ドライバのインストール、またはバックアップについて説明していません。

本パソコンで Windows 2000 を再インストールする場合、ドライバやアプリケーションをインストールする必要があります。再インストール後のドライバのインストールについては、本マニュアルの「ドライバとアプリケーションのインストール」(→P.32) をご覧ください。

■リカバリ／再インストールについて

「第 3 章 トラブルシューティング」－「リカバリ」では、リカバリに関する補足情報について記載しておりますが、本パソコンはリカバリを行うことはできません。

また、本パソコンでは、リカバリの代わりに再インストールを行うことができます。再インストールについて詳しくは、本マニュアルの「リカバリ／再インストール概要」(→ P.28) をご覧ください。

疲れしないパソコン利用方法

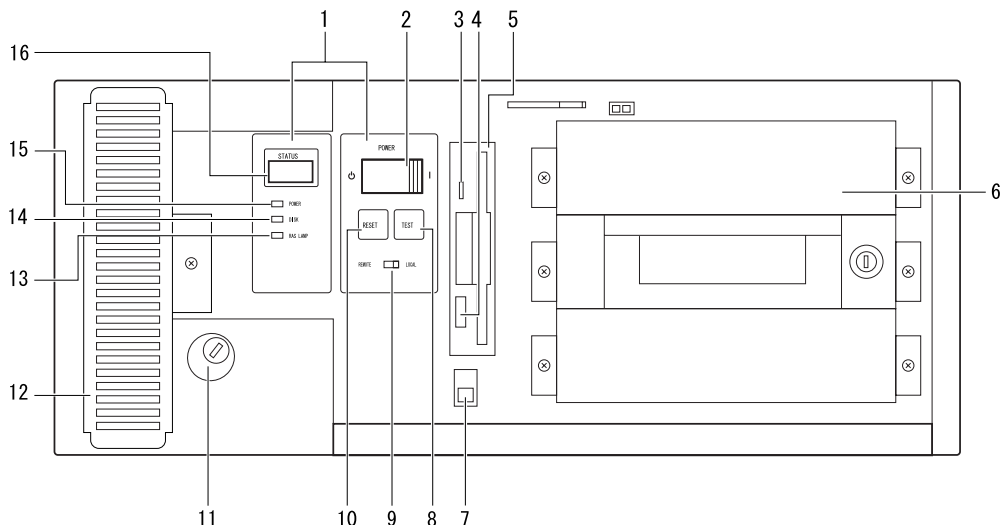
パソコン作業を続けていると、目が疲れ、首や肩が痛くなり、腰が痛くなることがあります。その主な原因は、長い時間同じ姿勢でいることや、近い距離で画面やキーボードを見続けることです。パソコンをお使いの際は疲労に注意し、適切な環境で作業してください。

- 照明にルーバやカバーを取り付ける。
- ブラインドやカーテンで、外光が直接目に入ったり画面に映り込んだりしないようにする。
- 目は画面から 40cm 以上離し、画面の高さは水平より下になるようにする。
- 作業中は、1 時間に 10 分～15 分程度の休憩をとる。
- 肘かけや背もたれのついた椅子を使用し、座面の高さを調節する。
- パソコンの周りや足元には、十分なスペースを確保する。

富士通では、独立行政法人産業医学総合研究所の研究に協力し、その成果が「パソコン利用のアクション・チェックポイント」としてまとめられています。詳しくは、富士通ホームページ (<http://design.fujitsu.com/jp/universal/ergo/vdt/>) の解説をご覧ください。

各部の名称と働き

パソコン本体前面



1 オペレーションパネル

装置の診断や RAS 機能を使用するための各種表示とスイッチがあります。

2 電源スイッチ (POWER)

パソコン本体の電源を入れるとき、切るときに押します。

POINT

▶ 電源モードスイッチが「LOCAL」のとき、電源を投入、切断することができます。

3 フロッピーディスクアクセス表示ランプ

フロッピーディスクドライブがフロッピーディスクを読んだり、書いたりしているときに点灯します。このランプが点灯しているときには、絶対にフロッピーディスクを取り出さないでください。

4 フロッピーディスク取り出しボタン

フロッピーディスクドライブからフロッピーディスクを取り出すときに押します。フロッピーディスクをセットすると、このボタンが飛び出します。

5 フロッピーディスクドライブ

フロッピーディスクを使用するための装置です。データの読み出し／書き込みを行います。

6 フロントアクセスベイ

上段：添付の CD-ROM や、内蔵ハードディスクを取り付けます。

中段：フロントアクセス用 HD アダプタまたは内蔵ミラーディスクユニット -40GB が標準搭載されています。

下段：内蔵ミラーディスクユニットなどの内蔵オプションを取り付けます。

7 オペレーションパネルカバースイッチ

オペレーションパネルカバーを開閉した記録を残します。

8 テストスイッチ (TEST)

テストスイッチを押すと、割り込み信号が発生します。

POINT


▶ RAS カード実装時に有効です。

9 電源モードスイッチ (REMOTE/LOCAL)

「LOCAL」側にすると、本体の電源スイッチによって電源を投入、切断することができます。

「REMOTE」側にすると、本体の電源投入、切断を基本 RAS コネクタや RAS カードの RAS コネクタで行うことができます。

POINT

▶ 電源モードスイッチの操作は、必ず電源スイッチが「」の状態で行ってください。

10 リセットスイッチ (RESET)

電源を入れた直後の状態に戻したいときに押します。リセットスイッチを押すと、主記憶上のデータやプログラムが消失してしまいます。

詳しくは、『ハードウェアガイド』－「第4章 基本的な操作」－「3 リセットについて」をご覧ください。

POINT

▶ 誤って、動作中にリセットスイッチやテストスイッチを押さないように注意してください。

11 鍵

左へ回すとオペレーションパネルカバーとアッパーカバーをロックします。

12 防塵フィルタ

本体内部へチリ、ほこりを入れないようにするためのフィルタです。防塵フィルタは定期的に点検し、汚れがひどい場合は清掃・交換をしてください。

13 RAS ランプ (RAS LAMP)

ハードウェアの異常を検出時に点灯します。

14 HDD アクセスランプ (DISK)

ハードディスクユニットにアクセス時に点灯します。

15 電源ランプ (POWER)

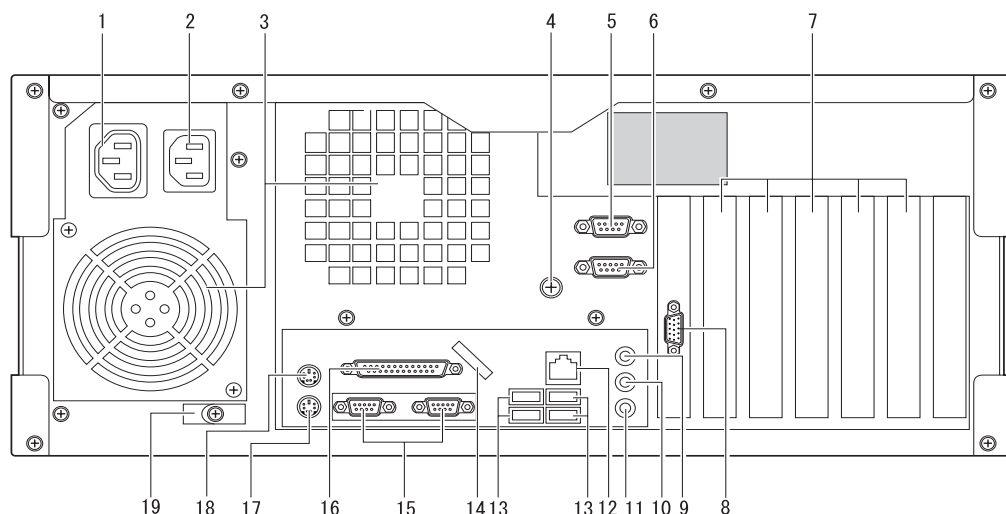
本体に電源を入れると点灯します。

16 ステータス表示部 (STATUS)

異常時の内容を示すステータスコードを表示します。

POINT

▶ RAS カードの有無により表示内容が異なります。



1 アウトレット

ディスプレイの電源コードのプラグを接続します。本体の電源スイッチと連動していますので、本体の電源スイッチによって電源を入れたり切ったりすることができます。ただし、その場合はアウトレットに接続したディスプレイの電源を入れた状態にしておきます。

POINT

▶ アウトレットには入力電源電圧と同じ電圧が出力されます。

2 インレット

電源ケーブル（本体用）を接続します。

3 ファン

本体内部の熱を外に出します。

4 アース接続端子

アース（FG）接続時に使用します。

5 基本 RAS コネクタ（RAS 0）

リモート電源 ON/OFF とリモートリセット機能および外部入出力（各 1 点）をサポートします。

6 COMRAS コネクタ（COMRAS）

自動運転機能をサポートします。

7 拡張スロット

本パソコンの機能を拡張する各種拡張カードを取り付けます。

8 ディスプレイコネクタ

アナログ RGB 規格のディスプレイケーブルを接続します。

9 LINE IN 端子

オーディオ機器の入力端子を接続します。

10 LINE OUT 端子

オーディオ機器の出力端子を接続します。

11 マイク端子

コンデンサマイクを接続します。

12 LAN コネクタ

LAN ケーブルを接続します。

13 USB コネクタ

USB 規格の周辺機器を接続します。

※接続に関しては、『ハードウェアガイド』の「付録 3 その他の注意事項」－「USB について」を参照してください。

14 USB 固定用スリット

USB コネクタに接続するケーブルを、固定します。添付のナイロンバンドを切りかけ部分に通し、ケーブルを止めます。

15 シリアルコネクタ

モデムなど RS-232C 規格の装置のケーブルを接続します。

16 パラレルコネクタ

プリンタなどのケーブルを接続します。

17 キーボードコネクタ

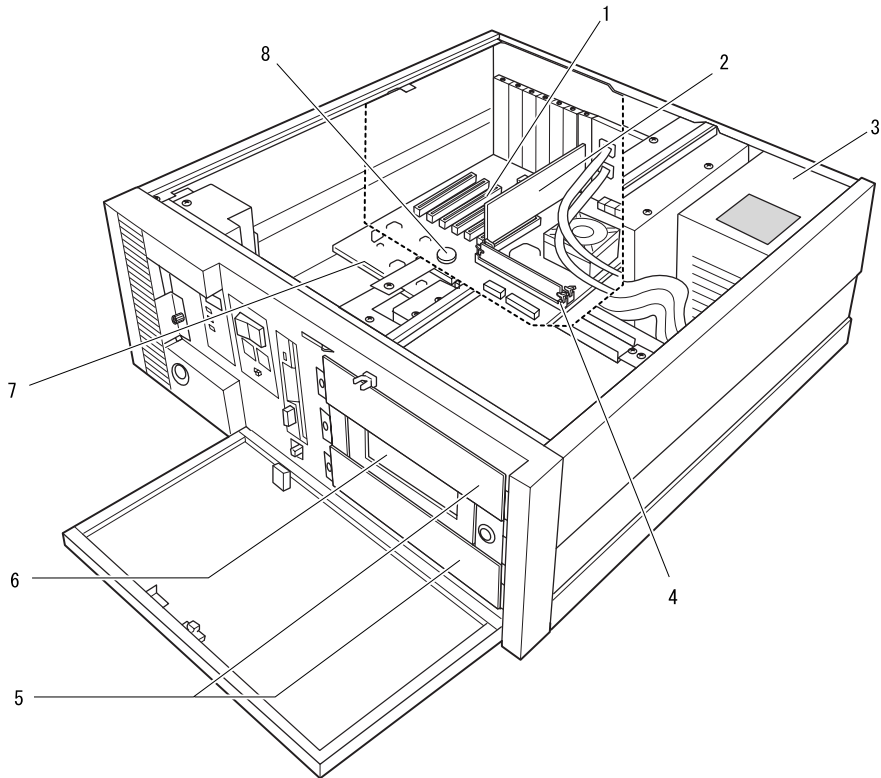
キーボードのケーブルを接続します。

18 マウスコネクタ

マウスのケーブルを接続します。

19 ケーブルクランプ

電源ケーブルを固定するために使用します。



1 拡張カードスロット

本パソコンの機能を拡張する各種拡張カードを取り付けます。

PCI カードを取り付けることができます。

2 グラフィックカード

3 電源ユニット

4 メモリスロット

増設するメモリを取り付けます。横置きの場合、パソコン本体前面側から見て前から順に DIMM1、DIMM2 と並んでいます。

標準では DIMM1 に 256MB のメモリが取り付けられています。

5 フロントアクセスベイ

内蔵 SCSI オプション（光磁気ディスクドライブなど）、内蔵 IDE オプション（ハードディスクなど）を取り付けます。

内蔵オプションは、外付けタイプの機器と異なり、電源をパソコン本体からとるため、コンセントを必要としません。また、省スペースというメリットもあります。

6 内蔵ハードディスク

フロントアクセス可能な構造のハードディスク（40GB）、またはミラーディスク（40GB）です。

7 内蔵ハードディスクベイ

IDE 規格の内蔵ハードディスクを取り付けます。より大容量のハードディスクを追加することができます。

8 バッテリー

本パソコンのセットアップ値を保存するためのバッテリーです。マザーボードに実装されています。標準の使用状態で約 5 年間使用できます。

設置に関する注意

⚠ 注意

- カバーをはずした状態での保管および使用は、故障の原因となりますので、おやめください。

🔍 POINT

- ▶ 縦置き設置は、『ハードウェアガイド』－「付録 2. 仕様一覧」とは条件が異なりますので、担当営業員にご相談ください。

使用および設置に適さない場所

本パソコンを設置する場合は、次の場所は避けてください。

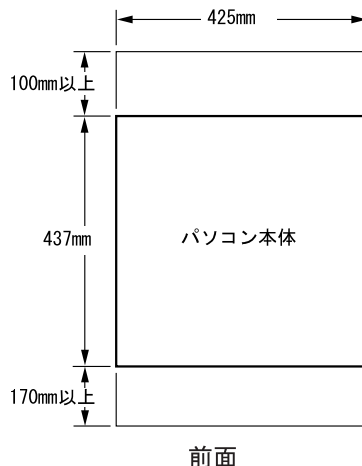
- 湿気やほこり、油煙の多い場所
- 通気性の悪い場所
- 火気のある場所
- 風呂場、シャワー室などの水のかかる場所
- 直射日光の当たる場所や、暖房器具の近くなど、高温になる場所
- 電源ケーブルなどのケーブルが足にひっかかる場所
- テレビやスピーカーの近くなど、強い磁界が発生する場所
- 振動の激しい場所や傾いた場所など、不安定な場所
- 車、飛行機、船など、輸送機器への設置
- 極端に高温または低温になる場所
- 腐食性ガス（温泉から出る硫黄ガスなど）が出る場所
- 結露する場所

🔍 POINT

- ▶ 本製品の使用環境は温度5～45℃/湿度20～85%RH（動作時）、温度-10～60℃/湿度8～90%RH（非動作時）です。
- ▶ 結露は、空気中の水分が水滴になる現象です。温度の低い場所（クーラーの効いた場所、寒い屋外など）から、温度の高い場所（暖かい室内、炎天下の屋外など）へ移動した時に起こります。結露が発生すると故障の原因となりますので、ご注意ください。

設置エリア

設置の際、ファンによる空気の流入、流出を確保するために、下図のようなエリアが前後に必要です。



アースについて

- アースは、電源コードをアース付3ピンのコンセントに差し込むことにより、とることができます。規格は第3種接地です。
- 3ピン-2ピンの変換プラグを使って2ピンのコンセントに差し込む場合、プラグのアース線は、コンセントのアース接続端子に必ず接続してください。または、FA パソコン本体のアース接続端子と外部アース接続端子を、アース線で接続してください。
- 19 インチラックなどに搭載する場合は、19 インチラックのアース接続端子とFAパソコンのアース接続端子を、アース線で接続してください。

設置方向について

本パソコンは、水平置きでご使用ください。

本パソコンを縦置きで使用する場合には、以下の注意事項がありますので、事前に担当営業員にご相談ください。

- 設置の向きによっては、内部温度が上昇するなど、故障や障害の原因となることがあります。
- CD-ROM ドライブなどには、縦置きで使用できないものがあります。
- 拡張カードによっては、振動・衝撃でカードが抜ける可能性があります。

19 インチロッカーへの取り付けについて

本パソコンを EIA 規格の 19 インチロッカーに固定するための取り付け金具を用意しています。(別売オプション)
ロッカーの種類により、対応できないものがありますので、事前に担当営業員にご相談ください。

パソコンの固定について

本パソコンには、本体固定用ネジ穴 (3 か所) があります。ロッカーなどに固定する場合、このネジ穴を使用することができます。

取り付け寸法には、若干の寸法公差が含まれますので、固定金具は、余裕をもった設計を行ってください。

AC 電源ケーブルについて

本パソコンに添付の AC 電源ケーブルは AC100V 専用です。AC125V を超える電源線にはつながないでください。AC200V でお使いになる場合は 200V に対応したケーブルをご用意ください。

AC アウトレットについて

AC アウトレットには入力電圧と同じ電圧が出力されます。AC200V 使用時は AC アウトレットにも同じ電圧が出力されるので、接続機器 (ディスプレイ) にご注意ください。(AC100V 専用の機器を接続すると発煙、発火、機器の故障につながります。)

CD-ROM ドライブの取り付け

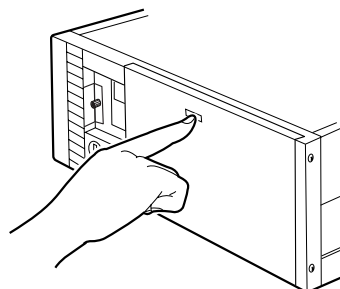
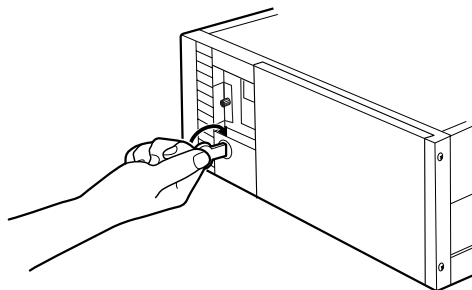
標準添付の CD-ROM ドライブの取り付け方を説明します。

警告

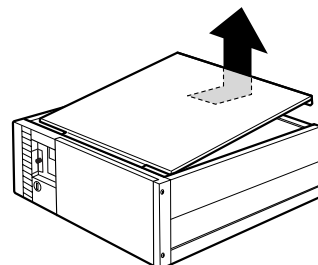
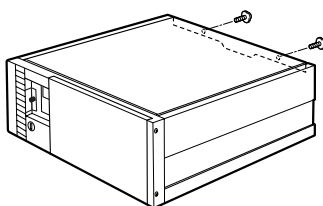


- CD-ROM ドライブを取り付けるときは、パソコン本体および接続している周辺機器の電源を切り、電源ケーブルをコンセントから抜いたあとに行ってください。
感電の原因となります。

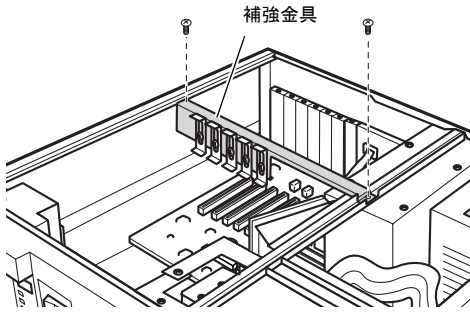
- 1 鍵を右に回してロックを解除し、PUSH のところを押して、オペレーションパネルカバーを手前に開きます。



- 2 ネジ (2 か所) を外し、アッパーカバーを取り外します。背面にスライドさせ、背面側を上方に持ち上げます。



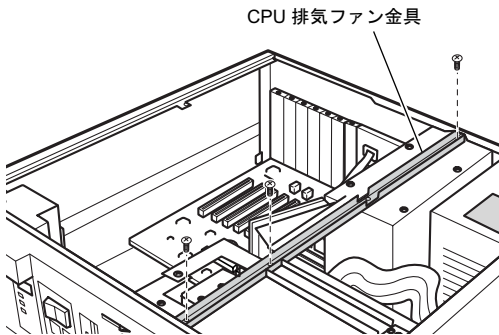
3 ネジ（2か所）を外して補強金具を取り外します。



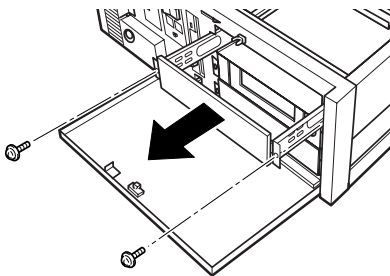
POINT

▶ アッパーカバーを取り外した際は、パソコン内部にゴミが入らないように注意してください。

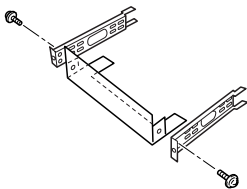
4 CPU 排気ファン金具を取り外します。



5 ネジを外して、かくし板とともにレールを本体から取り外します。



6 ネジを外し、かくし板からレールを取り外します。



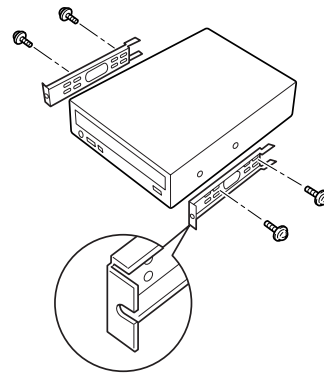
POINT

▶ 取り外したかくし板は、大切に保管してください。

7 CD-ROM ドライブにレールを取り付けます。

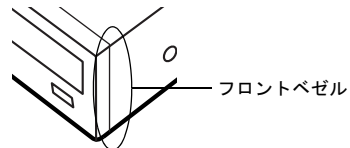
CD-ROM ドライブのジャンプスイッチを、ケーブルセレクトに設定します。

本体に添付されているネジ（4個）を使い、レールを CD-ROM ドライブに取り付けます。



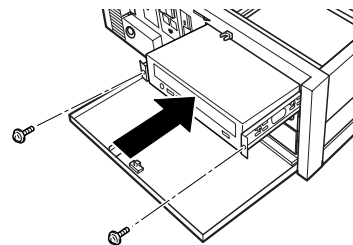
POINT

▶ 取り付けの際は、フロントベゼル部分にレールを突きあてネジを固定します。



8 CD-ROM ドライブを取り付けます。

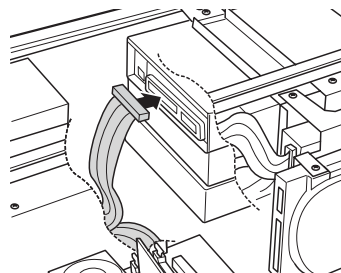
奥までスライドさせ、ネジ（2か所）で固定します。



CD-ROM ドライブは、装置内で CD-ROM ドライブのラベルをこすらないよう、まっすぐに搭載してください。

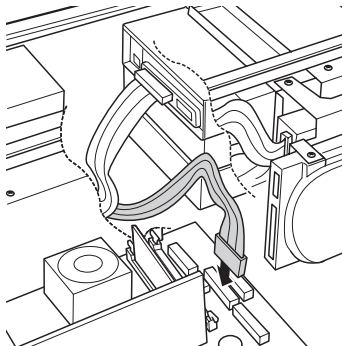
9 コネクタにフラットケーブルを接続します。

本体添付のフラットケーブルの片方のコネクタ（“MASTER”表示）を CD-ROM ドライブのコネクタに接続します。



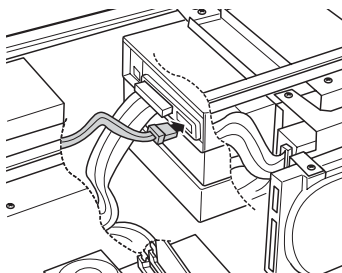
10 コネクタにフラットケーブルを接続します。

フラットケーブルの接続していない側のコネクタ (“MASTER” / “SLAVE” 表示のない) を、セカンダリ IDE コネクタに接続します。

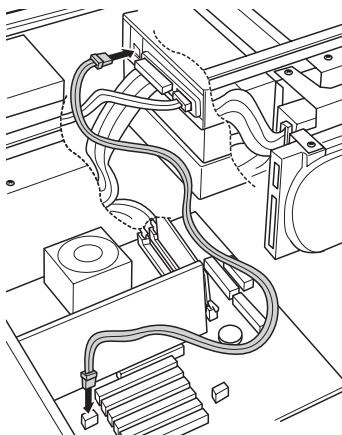


11 電源ケーブルを接続します。

パソコン本体内部の電源ケーブルのうち使用していない1本を、CD-ROM ドライブのコネクタに接続します。



12 添付のオーディオケーブルを、CD-ROM ドライブと、マザーボードの CD IN コネクタ (黒) に接続します。



13 補強金具とアッパーカバーを取り付けます。

2、3 と逆の手順で補強金具とアッパーカバーを取り付けます。

14 オペレーションパネルカバーを閉じ、鍵でロックします。

1 と逆の手順でオペレーションパネルカバーをロックします。

15 電源プラグをコンセントに差し込みます。

周辺機器との接続

警告



- アース接続が必要な製品は必ず、電源プラグをコンセントに接続する前に行ってください。また、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。アース接続をしないと、感電のおそれがあります。また、アース線は、ガス管には絶対に接続しないでください。火災の原因となります。



- ディスプレイ、キーボード、マウス、電源ケーブルの取り付けや取り外しを行う場合は、パソコン本体および接続されている周辺機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。感電の原因となります。



- ディスプレイ、キーボード、マウスを取り付ける場合は、弊社純正品をお使いください。感電・火災または故障の原因となることがあります。

注意



- ケーブルの接続は、間違いがないようにしてください。誤った接続状態でお使いになると、パソコン本体および周辺機器が故障する原因となることがあります。



- 本パソコンの設置場所を移動する場合は、接続しているケーブルなどをすべて取り外してください。接続したまま設置場所を移動するとケーブルや本体のコネクタを破損するおそれがあります。



- アウトレットはディスプレイの電源供給専用です。それ以外の用途には使用しないでください。火災・故障の原因となることがあります。



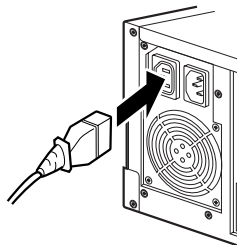
- プリント基板は、指定されている場所以外には手を触れないでください。けがをすることおそれがあります。また、故障の原因となることがあります。

重要

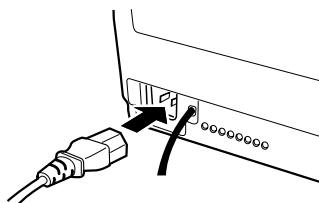
- ▶ 本パソコンを動かす場合は、接続しているケーブルなどをすべて取り外してください。接続したまま動かすとケーブルや本体のコネクタを破損する恐れがあります。

ディスプレイの接続

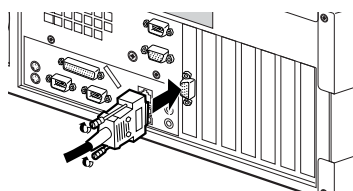
- 1 電源ケーブル（ディスプレイ用）の一方のプラグをパソコン本体のアウトレットに接続します。



- 2 電源ケーブル（ディスプレイ用）のもう一方のプラグを、ディスプレイ背面のインレットに接続します。



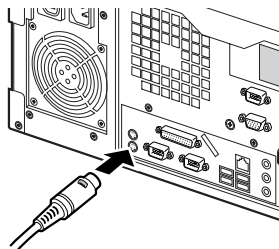
- 3 ディスプレイケーブルをパソコン本体に接続します。ケーブルのコネクタを、パソコン本体背面の CRT コネクタに接続します。ディスプレイケーブルのコネクタのネジをしめます。



キーボード、マウスの接続

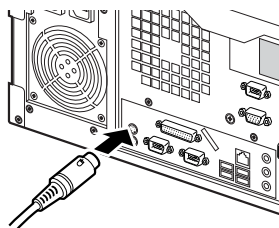
- 4 キーボードケーブルのコネクタを、パソコン本体背面のキーボードコネクタに接続します。

このとき、コネクタに刻印されているマークが上向きになるようにします。




- 5 マウスケーブルのコネクタを、パソコン本体背面のマウスコネクタに接続します。

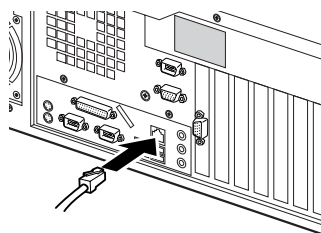
このとき、コネクタに刻印されているマークが上向きになるようにします。



通信ケーブルの接続

- 6 LAN ケーブルを接続します。

別売のツイストペアケーブルの片方のコネクタを、パソコン本体背面の LAN コネクタ（マークがあるコネクタ）に接続します。



POINT

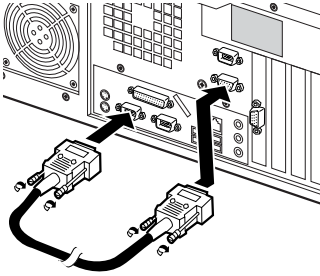
- ▶ ツイストペアケーブルには、添付のコアを取り付けてください。

7 LAN ケーブルを接続します。

ツイストペアケーブルのもう片方のコネクタを、ネットワークのコネクタに接続します。

8 スケジュール運転機能を使用する場合は通信ケーブルを接続します。

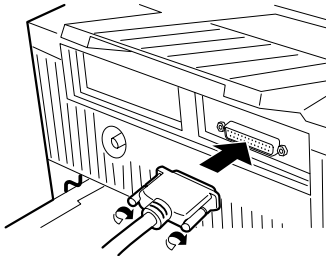
ケーブルを COMRAS コネクタとシリアルコネクタ (1) (RS232C) に接続し、ケーブルのコネクタのネジをしめます。



プリンタの接続

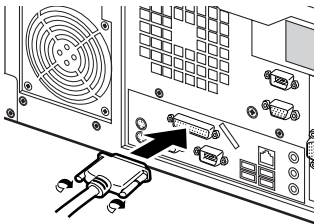
9 プリンタケーブルをプリンタに接続します。

プリンタケーブルの片方のコネクタを、プリンタに接続します。コネクタのネジをしめます。



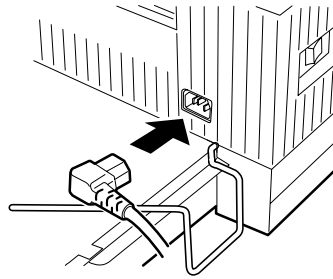
10 プリンタケーブルをパソコン本体に接続します。

もう片方のコネクタを、パソコン本体の平行コネクタに接続します。コネクタのネジをしめます。



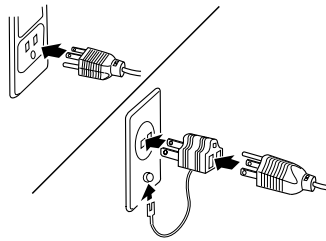
11 電源ケーブルをプリンタに接続します。

プリンタの電源ケーブルのプラグを、プリンタのインレットに接続します。









12 電源ケーブルをコンセントに接続します。

もう片方のプラグを、コンセントに接続します。



電源ケーブルの接続

警告

-  ● 濡れた手でプラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となります。
-  ● 電源ケーブルを傷つけたり、加工したりしないでください。
-  ● 重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったり、加熱したりしないでください。
-  ● 電源ケーブルや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込み口がゆるいときは使用しないでください。
-  ● 電源プラグの金属部分、およびその周辺にほこりが付着している場合は、乾いた布でよく拭いてください。
そのまま使用すると、火災の原因となります。
-  ● 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。
また、タコ足配線をしないでください。
感電・火災の原因となります。



- 近くで雷が起きたときは、電源ケーブルをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、雷によっては機器を破壊し、感電・火災の原因となります。



- 2ピンのコンセントに接続する前に、コンセント変換コネクタを使って必ずアース線を接続してください。アース接続ができない場合は、「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」、またはご購入元にご相談ください。アース接続しないで使用すると、万一漏電した場合に、感電・火災の原因となります。

⚠ 注意



- 電源ケーブルは、家庭用電源（AC100V）に接続してください。



- 電源プラグを抜くときは電源ケーブルを引っ張らず、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源ケーブルを引っ張ると、電源ケーブルの芯線が露出したり断線して、感電・火災の原因となることがあります。

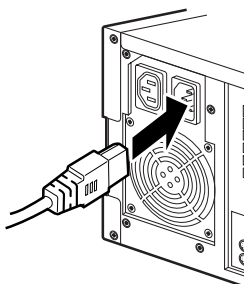


- 電源プラグは、コンセントの奥まで確実に差し込んでください。火災・故障の原因となることがあります。

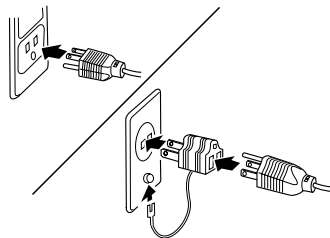


- 長期間機器を使用しないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。感電・火災の原因となることがあります。

- 13** 電源ケーブルをパソコン本体背面のインレットに接続します。



- 14** 電源ケーブルをコンセントに接続します。電源プラグをコンセントに接続します。



電源を入れる

注意事項

- ご購入後、初めて電源を入れる場合は、周辺機器の取り付けなどを行わないでください。
- 画面に何も表示されない場合は、ディスプレイのケーブルが正しく接続されているか確認してください。
- 画面が中央に表示されない場合は、ディスプレイにあった周波数が設定されているか確認してください。それでも中央に表示されない場合は、ディスプレイ側で調整してください。
- ディスプレイの電源ケーブルを本パソコンに接続している場合、ディスプレイの電源は本パソコンの電源と連動して入ります。そのため、ディスプレイの電源ボタンは一度押しておけば、以後操作する必要はありません。次回からは手順2の本体の電源ボタンを押すだけで電源が入ります。ただし、ディスプレイ以外の機器は、あらかじめ電源を入れておく必要があります。
- 本パソコンの電源とディスプレイの電源を連動させない場合は、本パソコンの電源を入れる前に、ディスプレイの電源を必ず入れてください。
- 電源を入れた後すぐに電源を切る場合は、OS が起動してから「電源を切る」(→ P.27)に従って電源を切ってください。
- 電源を切った後すぐに電源を入れる場合は、10 秒以上間隔をあけてから行ってください。
- 画面表示の開始や表示モードが切り替わる時、一時的に画面が乱れたり、横線が見えることがあります (Windows の起動・終了画面、省電力モードからの復帰時など)。これは故障ではありませんので、そのままお使いください。
- 電源を入れた後、ディスプレイに「FUJITSU」ロゴが表示されている間に、本パソコンは、パソコン内部をチェックする「POST (ポスト: Power On Self Test)」を行います。POST 中は電源を切らないでください。POST の結果、異常があればエラーメッセージが表示されます。エラーメッセージについては『ハードウェアガイド』-「第5章 BIOS」-「5 BIOS が表示するメッセージ一覧」をご覧ください。
- 周辺機器の取り付けなどのとき、アッパーカバーを取り外したまま電源を入れしないでください。

●画面に何も表示されないときは、次のことを確認してください。

- ・ディスプレイの電源ボタンは入っていますか。
- ・省電力モードが設定されていませんか。
マウスを動かすか、どれかキーを押してください。電源ランプがオレンジ色になっている場合、ACPI モードの S1 に移行している可能性があります。
- ・ディスプレイのケーブルは、正しく接続されていますか (→ P.18)。
- ・ディスプレイの電源ケーブルは、アウトレットに接続されていますか (→ P.19)。
- ・ディスプレイのブライツネス/コントラストボリュームは、正しく調節されていますか。
ブライツネス/コントラストボリュームで画面を調節してください。

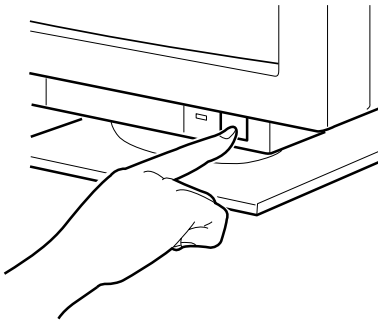
電源の入れ方

本パソコンをご購入後、初めて電源を入れる場合は OS を使用するための初期設定を行います。セットアップの詳細については「ご購入時のセットアップ」を参照してください。

⚠ 注意

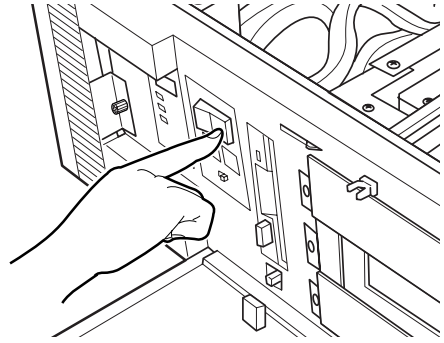
- 禁止 ● 電源を入れた状態で持ち運んだり、衝撃や振動を与えたりしないでください。
パソコン内部のハードディスクを損傷し、データを消失する原因となります。

- 1 ディスプレイの電源ボタンを押します。
この時点では、画面には何も表示されません。



- 2 パソコン本体の電源スイッチを押して、電源を入れます。
ディスプレイとパソコン本体の電源ランプが点灯します。
電源が入ると、本パソコンはパソコン内部の装置をチェックする「POST (Power On Self Test: パワーオンセ

ルフテスト)」を行います。POST の結果、異常があればエラーメッセージが表示されます。



POST が正常に終了すると、システムが起動します。ご購入後、初めて電源を入れると、Windows のセットアップ画面が表示されます。その場合は、「ご購入時のセットアップ」(→ P.23) をご覧になり 操作を続けてください。

■Windows XP/2000 をお使いのお客様へ

●ACPI モード標準で使用するには

本パソコンは、ACPI-S3 モードをサポートしていません。ACPI-S1 モードで使用するには、「デバイスマネージャ」→「キーボード」または「マウスとそのほかのポインティングデバイス」の PS/2 キーボードまたは PS/2 マウスのプロパティの「電源の管理」タブで、次の項目をチェックする必要があります。

「このデバイスで、コンピュータのスタンバイ状態を元に戻すことができるようにする」

なお、「電源の管理」タブが表示されないことがあります。このときは、設定できません。

初めて電源を入れた後は、続けて Windows のセットアップを行います (→ P.23)。

POINT

- ▶ BIOS セットアップを起動する際、ディスプレイの種類によっては画面の表示が遅く、「<F2>BIOS Setup/<F12>Boot Menu」の表示が確認できない場合があります。
その場合、キーボードの Num Lock インジケータが点灯した後、【F2】キーを数回押してください。

ご購入時のセットアップ

初めて電源を入れた後に行う Windows の初期設定 (Windows セットアップ) について説明します。必ず、本書の手順に従って操作してください。

次の「留意事項」をよくお読みになり、電源を入れて Windows セットアップを始めます。

Windows 2000 の再インストールを行った場合は、「必要に応じてお読みください」－「Windows 2000 セットアップ (ご購入時)」(→ P.25) に従って操作してください。

留意事項

● Windows セットアップを行う前は、次の点にご注意ください。

- ・周辺機器を取り付けしないでください。
- ・LAN ケーブルを接続しないでください。
- ・オプションカードをセットしないでください。
- ・BIOS をご購入時の設定から変更しないでください。

Windows セットアップが正常に行われなかったり、エラーメッセージが表示される場合があります。

上記の項目は、セットアップを行い、「必ず実行してください」を実行してから、行うようにしてください。

● Windows セットアップの各ウィンドウが完全に表示されないうちにキーを押すと、Windows セットアップが完全に行われなかった場合があります。ウィンドウが完全に表示されたから、キーまたはマウスで操作してください。

● セットアップ中は、不用意に電源を切らないでください。

Windows XP セットアップ

1 本パソコンの電源を入れます (→ P.21)。

しばらくすると、「Microsoft Windows へようこそ」が表示されます。

2 「次へ」をクリックします。

「使用許諾契約」が表示されます。

「使用許諾契約」は、本パソコンにあらかじめインストールされている Windows を使用するうえでの契約を記述したものです。

3 「使用許諾契約」をよく読み、「同意します」をクリックし、「次へ」をクリックします。

「コンピュータを保護してください」と表示されます。

POINT

▶ 「同意しません」を選択した場合は、「次へ」をクリックした後、メッセージに従って操作してください。

4 「自動更新を有効にし、コンピュータの保護に役立てます」をクリックし、「次へ」をクリックします。

「コンピュータに名前を付けてください」と表示されます。

5 「このコンピュータの名前」と「コンピュータの説明」を入力し、「次へ」をクリックします。

「管理者パスワードを設定してください」と表示されます。

POINT

▶ 「コンピュータの説明」は省略できます。

また、コンピュータの名前や説明は、セットアップ終了後にあらためて設定することもできます。

6 「管理者パスワード」と「パスワードの確認入力」にパスワードを入力し、「次へ」をクリックします。

「このコンピュータをドメインに参加させますか?」と表示されます。

POINT

▶ パスワードでは大文字/小文字が区別されます。

▶ 「設定が完了しました」と表示された場合は、手順 10 へ進んでください。

7 「いいえ...」をクリックし、「次へ」をクリックします。「インターネット接続を確認します」と表示されます。しばらくすると、「インターネットに接続する方法を指定してください」と表示されます。

POINT

▶ 「Microsoft にユーザー登録する準備はできましたか?」と表示された場合は、手順 9 へ進んでください。

8 「省略」をクリックします。

「Microsoft にユーザー登録する準備はできましたか?」と表示されます。

9 「いいえ、今回はユーザー登録しません」をクリックし、「次へ」をクリックします。

「設定が完了しました」と表示されます。

10 「完了」をクリックします。

本パソコンの再起動後、パスワードの入力画面が表示されます。

11 手順 6 で入力したパスワードを入力し、「→」をクリックします。

POINT

- ▶ 「ネットワーク設定」ウィンドウが表示された場合は、「キャンセル」をクリックしてください。
- ▶ 画面下の通知領域に警告が表示されたら、「必ず実行してください」を実行後、ウイルス対策ソフトをインストールし、ウイルス対策を最新の状態にしてください。

- 12** 「スタート」メニューの「必ず実行してください」をクリックします。
「このパソコンに最適な設定を行います」ウィンドウが表示されます。

重要

- ▶ 「必ず実行してください」を行わないと、セットアップの最終設定が行われません。必ず手順どおりに実行してください。

- 13** 「実行する」をクリックします。
最終設定が行われ、再起動メッセージが表示されます。

重要

- ▶ 最終設定を正しく行うために、必ず「実行する」をクリックしてください。

- 14** 「OK」をクリックします。
本パソコンが再起動します。

重要

- ▶ 「復元ポイントの作成」を行う場合は、「必ず実行してください」を実行後、再起動してから行ってください。

これで、Windows セットアップが完了しました。

■セットアップ後

セットアップが終わったら、パソコンを使い始める前に、次の操作を行ってください。

●セキュリティ対策

ウイルス対策や不正アクセスに関する対策など、お使いのパソコンについてのセキュリティ対策は、システム管理者の指示に従い、お客様自身が責任をもって行ってください。インターネットに接続しただけで感染するウイルスなどもあります。初めてインターネットに接続する際は、LANなどに接続してインターネットを始める前に、次のセキュリティ対策を行ってください。

1. ネットワーク管理者に確認し、LANなどの設定を行います。
2. LANコネクタにLANケーブルを接続します。

3. 「Windows Update」を実行し、Windows をより安全な状態に更新します。
「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「Windows Update」をクリックし、必要な更新をインストールします。
4. Office 製品をお使いの場合は、「Office のアップデート」を実行し、より安全な状態に更新します。「Office のアップデート」は、「Windows Update」の画面から行うことができます。
5. ウイルス対策ソフトをインストールし、ウイルス対策のデータファイルを最新にします。ウイルス対策ソフト「AntiVirus」については、『ソフトウェアガイド』の「トラブルシューティング」→「トラブルに備えて」→「コンピュータウイルス対策」をご覧ください。実行にあたっては、ネットワーク管理者の指示に従ってください。

なお、『ソフトウェアガイド』をご覧になるためには、インターネットに接続できる環境が必要になります。ネットワーク管理者に確認し、LANなどの設定を行ってください。

- FMV-7306FA9 では、ハイパー・スレッディング・テクノロジー機能をお使いになれます。

POINT

- ▶ ハイパー・スレッディング・テクノロジー機能とは、OS上で物理的な1つのCPUを仮想的に2つのCPUのように見せることにより、1つのCPU内でプログラムの処理を同時に実行し、CPUの処理性能を向上させるテクノロジーです。複数のソフトを同時に使っている場合でも、処理をスムーズに行うことが可能です。
 - ・ ハイパー・スレッディング・テクノロジー機能を有効にするための手順

 1. BIOS セットアップを起動します。
 2. 「Advanced」メニューの「Hyper-Threading」を「Enabled」に設定します。
本パソコンのご購入時の設定は、「Disabled」です。
 3. 「Exit」メニューの「Save Changes & Exit」を選択して、【Enter】キーを押します。
「Save configuration changes and exit now?」というメッセージが表示されます。
 4. 「Yes」を選択して、【Enter】キーを押してください。
本パソコンが再起動します。
 5. 再起動後、デバイスマネージャで下記の状態になっていることを確認してください。
 - ・ 「コンピュータ」： ACPI マルチプロセッサ PC
 - ・ 「プロセッサ」： Intel(R) Pentium(R) 4 CPU 3.06 GHz「プロセッサ」には同じ名称が2つ表示されます。

- ▶ ご使用になるソフトウェア（本体添付のソフトウェアを含みます）の組合せによっては、ハイパー・スレディング・テクノロジー機能により次のような現象が発生する場合があります。

- ・ 処理速度が向上しない。または逆に低下する。
- ・ Windows のシャットダウン時、または再起動時に正常に終了せずに途中で停止する。
- ・ Windows のシャットダウン時、または再起動時に「プログラムの終了」ウィンドウで、「このプログラムは応答していません」が表示される。

その場合は、BIOS セットアップを起動し、「Advanced」－「Hyper-Threading」を「Disabled」に設定してからリカバリを行い、ハイパー・スレディング・テクノロジー機能を無効にしてご使用ください。

ソフトウェアのハイパー・スレディング・テクノロジー機能への対応状況については、各ソフトウェアの販売元にご確認ください。

- ▶ ハイパー・スレディング・テクノロジー機能をいったん有効に設定した後、無効の状態に戻す場合は BIOS セットアップを起動し、「Advanced」－「Hyper-Threading」を「Disabled」に変更してからリカバリを行ってください。

- 必要に応じて、ソフトウェアの追加や削除を行うことができます。ソフトウェアについては、『ソフトウェアガイド』－「ソフトウェア」－「ソフトウェア一覧」をご覧ください。

Windows 2000 セットアップ（ご購入時）

- 1 本パソコンの電源を入れます（→ P.21）。しばらくすると、「Windows 2000 セットアップウィザードの開始」が表示されます。
- 2 「次へ」をクリックします。「ライセンス契約」が表示されます。「使用許諾契約書」は、本パソコンにあらかじめインストールされている Windows を使用するうえでの契約を記述したものです。
- 3 「使用許諾契約書」をよく読み、「同意します」をクリックし、「次へ」をクリックします。「ソフトウェアの個人用設定」が表示されます。

POINT

- ▶ 「同意しません」を選択した場合は、「次へ」をクリックした後、メッセージに従って操作してください。

- 4 「名前」と「組織名」を入力し、「次へ」をクリックします。「組織名」は省略できます。「プロダクトキー」が表示されます。

- 5 「プロダクトキー」を入力し、「次へ」をクリックします。「コンピュータ名と Administrator のパスワード」が表示されます。

POINT

- ▶ プロダクトキーは、Windows 2000 Professional のパッケージ裏面に貼られている「Certificate of Authenticity」ラベルに記載されています。

- 6 「コンピュータ名」、「Administrator のパスワード」と「パスワードの確認入力」を入力し、「次へ」をクリックします。「ネットワークの設定」が表示されます。

ネットワークの設定については、セットアップ完了後にネットワーク管理者に確認し、ご使用の環境に合わせて設定してください。

POINT

- ▶ パスワードでは大文字／小文字が区別されます。

- 7 「標準設定」をクリックし、「次へ」をクリックします。「ワークグループまたはドメイン名」が表示されます。

POINT

- ▶ 「標準設定」では、次のネットワークコンポーネントがインストールされます。
 - ・ Microsoft ネットワーク用クライアント
 - ・ Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有
 - ・ インターネットプロトコル（TCP/IP）

- 8 「このコンピュータはネットワーク上にないか、ドメインのないネットワークに接続している」をクリックし、「次へ」をクリックします。

「Windows 2000 は正常にインストールされました。」と表示されます。

- 9 「再起動する」をクリックするか、または 15 秒待つと本パソコンが再起動します。「ネットワーク識別ウィザードの開始」が表示されます。

重要

- ▶ 「ネットワーク識別ウィザード」ウィンドウが表示されたとき、「戻る」をクリックしないでください。再設定が必要な場合は、設定終了後に該当箇所を修正してください。

- 10 「次へ」をクリックします。「このコンピュータのユーザー」が表示されます。
- 11 「ユーザーはこのコンピュータを ...」をクリックし、「次へ」をクリックします。「ネットワーク識別ウィザードの終了」が表示されます。

POINT

- ▶ 必ず「ユーザーはこのコンピュータを ...」を選択してください。「ユーザーはこのコンピュータを ...」以外を選択すると、セットアップが正常に行われなかったことがあります。

12 「完了」をクリックします。

「Windows へログオン」ウィンドウが表示されます。

13 手順 6 で入力したパスワードを入力し、「OK」をクリックします。

「ネットワークのプロパティ」ウィンドウが表示された場合は、「キャンセル」をクリックしてください。

「Windows 2000 の紹介」ウィンドウが表示されます。

14 「スタート」ボタン→「シャットダウン」の順にクリックします。

15 「再起動」を選択し、「OK」をクリックします。

Windows が再起動し、「Windows へログオン」ウィンドウが表示されたら、ログオンしてください。

16 ログオン後、デスクトップの「必ず実行してください」アイコンをダブルクリックします。

「このパソコンに最適な設定を行います」ウィンドウが表示されます。

重要

- ▶ 「必ず実行してください」を行わないと、セットアップの最終設定が行われません。必ず手順どおりに実行してください。

17 「実行する」をクリックします。

最終設定が行われ、再起動メッセージが表示されます。

重要

- ▶ 最終設定を正しく行うために、必ず「実行する」をクリックしてください。

18 「OK」をクリックします。

本パソコンが再起動します。

これで、Windows セットアップが完了しました。

■セットアップ後

- 「Windows Update」を実行し、Windows の環境を最新の状態にすることをお勧めします。

「Windows Update」を実行することで、不具合のあるプログラムが修正されるほか、多くのウイルスや不正アクセスからパソコンを守ることができます。実行にあたっては、システム管理者の指示に従ってください。

「Windows Update」を実行するためには、インターネットに接続できる環境が必要になります。

「Windows Update」の実行方法については、「Windows Update について」(→ P.35) をご覧ください。

セットアップで困ったときは

セットアップ中に動かなくなった、など困ったことがあったときには、次の項目をご覧ください。

□電源を入れても画面が表示されない

- 電源を切り、ディスプレイなどの接続を確認してください。

□Windows セットアップが進められなくなった

- 「電源を切る」(→ P.27) をご覧になり、本パソコンの電源を一度切った後でセットアップをやり直してください。

□電源を入れた後、画面が中央に表示されない、画面が見にくい

- 設定機能があるディスプレイをお使いの場合は、ディスプレイのマニュアルをご覧になり調整してください。

□起動時などの音がうるさい

- Windows セットアップ時に音が鳴ります。スピーカーを接続している場合は、ボリュームを調整してください。

□「新しいハードウェアの追加ウィザード」ウィンドウが表示される

- お使いのモニタに合わせたドライバをインストールしてください。

電源を切る

注意事項

- 電源を切る前に、すべての作業を終了し、データを保存してください。
- 電源を切る前に、HDD アクセスランプやフロッピーディスクアクセス表示ランプが消えていることを確認してください。点灯中に電源を切ると、作業中のデータが保存できなかつたり、ハードディスクやフロッピーディスク内部のデータが破壊されたりする可能性があります。
- 電源を切った後すぐに電源を入れる場合は、10 秒以上時間をあけてください。

電源の切り方

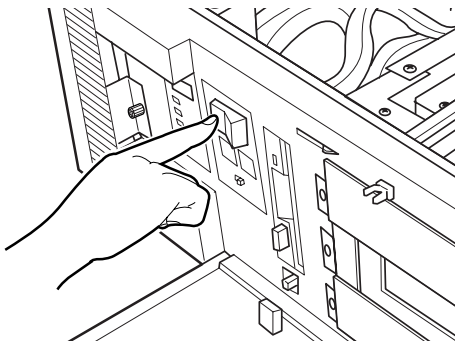
次の操作を行うと、電源が自動的に切れます。

■Windows XP の場合

- 1 「スタート」ボタン→「終了オプション」→「電源を切る」の順にクリックします。



- 2 電源スイッチ (POWER) を OFF にします。



■Windows 2000 の場合

- 1 「スタート」ボタン→「シャットダウン」の順にクリックし、「シャットダウン」を選択して「OK」をクリックします。



- 2 電源スイッチ (POWER) を OFF にします。

「Windows XP の場合」を参照。

POINT

- ▶ 上記操作で電源が切れない場合、次の手順で電源を切ってください。
 1. 【Ctrl】+【Alt】+【Delete】キーを押します。
 2. 次の手順を行うと、電源が自動的に切れます。
 - Windows XP の場合
「シャットダウン」→「コンピュータの電源を切る」の順にクリックします。
 - Windows 2000 の場合
「シャットダウン」をクリックし、「シャットダウン」を選択して「OK」をクリックします。
- ▶ それでも電源が切れない場合は、電源スイッチを押してください。
- ▶ 電源スイッチを押したあと、パソコン本体電源が切断されるまで数秒かかる場合があります。電源スイッチを操作してもパソコン本体電源がどうしても切断できない状態になったときは、オペレーションパネルの TEST スイッチと RESET スイッチを同時に押してください。無条件に電源が切断されます。(通常時には、この操作を行わないでください)
- ▶ POST (自己診断) 実行中に電源操作を行ってもすぐには電源切断されませんが故障ではありません。電源切断は、POST 終了時に行われます。
- ▶ 手順 1 で、「再起動」を選択すると、本パソコンを再起動することができます。ソフトウェアをインストールした場合や、使用中のソフトウェアがなんらかの理由で動かなくなった場合などに、再起動を行います。再起動すると、メモリ内のデータが消失します。再起動する前に、必要なデータは保存してください。

2. 必要に応じてお読みください

ご購入時の設定に戻す

BIOS セットアップの設定値を、本パソコンご購入時の状態に戻す方法について説明します。

BIOS セットアップを起動し、「Exit」メニューの「Get Default Values」を実行します。

この後、お使いのOSに応じて、次の設定を変更してください。なお、下記の場合以外は、設定を変更する必要はありません。

- Windows XP の場合
 - ・ 「Power」 - 「ACPI S3」: Disable
 - ・ 「Advanced」 - 「Peripheral Configuration」 - 「LAN Remote Boot」: Enabled
- Windows 2000 の場合
 - ・ 「Power」 - 「ACPI S3」: Disable

POINT

- ▶ BIOS セットアップを起動する際、ディスプレイの種類によっては画面表示が遅く、「FUJITSU」のロゴの表示が確認できない場合があります。その場合は、キーボードの NumLock インジケータが点灯した後に、【F2】キーを数回押してください。

リカバリ／再インストール概要

Windows が起動しないなどの問題が発生した場合、ハードディスクの領域を変更したい場合は、リカバリまたは再インストールを行います。

リカバリの概要と手順

■対応 OS

- Windows XP

■概要

リカバリとは、「リカバリディスク」を使用して、OS、ドライバなどのプレインストールソフトウェアをご購入時の状態に戻す操作です。

「リカバリディスク」では、次の方法でリカバリを実行できます。

- Cドライブのみご購入時の状態に戻す（推奨）
ハードディスクの領域は現在お使いの状態のまま、Cドライブのみご購入時の状態に戻します。Dドライブ以降は、変更されません。
この方法でリカバリを行うと、Cドライブのデータはすべて

失われます。あらかじめ必要なデータはバックアップしておいてください。

- 領域を設定した後、Cドライブをご購入時の状態に戻す
ハードディスクの領域を設定した後、Cドライブの内容をご購入時の状態に戻します。Dドライブはフォーマットされます。

この方法でリカバリを行うと、ハードディスク内のデータはすべて失われます。あらかじめ必要なデータはバックアップしておいてください。

領域の設定には、次の方法があります。

- ・ 領域を任意に設定して戻す
領域を任意に設定した後、Cドライブの内容をご購入時の状態に戻し、Dドライブをフォーマットします。領域は、100MB単位で2区画まで作成できます。
- ・ 領域をご購入時の設定にして戻す
ハードディスクの領域とCドライブの内容をご購入時の状態に戻し、Dドライブをフォーマットします。

■手順

リカバリは次の手順で行います。

- 1 リカバリ前の準備（→ P.29）
- 2 リカバリ方法（→ P.29）
- 3 リカバリ終了後（→ P.30）

再インストールの概要と手順

■対応 OS

- Windows 2000

■概要

再インストールとは、OS、ドライバなどを再度インストールし、本パソコンをお使いになれる状態に戻す操作です。

■手順

再インストールは次の手順で行います。

- 1 再インストール前の準備（→ P.30）
- 2 Windows 2000 の再インストール（→ P.30）
- 3 Windows 2000 セットアップ（→ P.31）
- 4 ドライバとアプリケーションのインストール（→ P.32）
- 5 再インストール終了後（→ P.34）

留意事項

■全 OS 共通の留意事項

- リカバリや再インストール、ハードディスクの領域の変更を行うと、Cドライブのファイルはすべて削除されます。また、「領域を設定したあと、ご購入時の状態に戻す」を選択してリカバリを行ったり、再インストールで領域の変更を行ったりすると、Dドライブのファイルもすべて削除

されます。必要に応じて事前にバックアップを行ってください。

- 周辺機器を取り付けている場合は、それらを一度取り外し、ご購入時の状態に戻してください。
- リカバリまたは再インストールを終えてセットアップが終了するまで、LAN ケーブルを接続しないでください。LAN ケーブルを接続してセットアップを行うと、エラーメッセージが表示されることがあります。
- 内蔵の CD-ROM ドライブをお使いになる場合は、IDE セカンダリのマスタに CD-ROM を接続してください。接続については、「CD-ROM ドライブの取り付け」(→ P.16) をご覧ください。
- 領域設定できる最大容量はお使いになるハードディスクにより若干異なります。

□ Windows XP の留意事項

- 「C ドライブのみご購入時の状態に戻す (推奨)」を選択した場合は、リカバリを行っても、C ドライブ以外のドライブはフォーマットされません。
- Windows 起動中に「リカバリディスク」をセットすると、「Windows が実行する動作を選んでください」と表示されます。「キャンセル」をクリックしてください。

□ Windows 2000 の留意事項

- OS の再インストールでは、ドライバやアプリケーションはインストールされません。OS のセットアップ終了後、必要なドライバとアプリケーションをインストールしてください (→ P.32)。
- OS の再インストール時に、ハードディスクの領域の設定やファイルシステムの選択 (FAT または NTFS) を行うことができます。

リカバリ操作 (Windows XP)

本パソコンをご購入時の状態に戻す「リカバリ」の方法を説明します。

POINT

- ▶ リカバリに関する留意事項 (→ P.28) をよくお読みのうえ、リカバリを行ってください。

リカバリ前の準備

リカバリを実行する前に、次の操作を行ってください。

■必要なもの

- 「リカバリディスク 1、2、3、4」

■BIOS 設定について

BIOS の設定をご購入時の設定に戻します (→ P.28)。

POINT

- ▶ BIOS セットアップの設定をご購入時と異なる設定にしていると、インストール時にエラーメッセージが表示されることがあります。

リカバリ方法

- 1 本パソコンを起動します。
- 2 「FUJITSU」ロゴの下に文字が表示されている間に、【F12】キーを押します。
メニューが表示されます。
【F12】キーは軽く押しただけでは認識されない場合があります。しばらくの間押してください。

POINT

- ▶ ディスプレイの種類によっては画面の表示が遅く、「FUJITSU」ロゴや Windows の起動時のロゴの表示が確認できない場合があります。
その場合は、BIOS セットアップを起動する際、本パソコンの再起動後に【F12】キーを数回押してください。
- ▶ メニューが表示されない場合は、【Ctrl】+【Alt】+【Delete】キーを押して本パソコンを再起動し、もう一度操作してください。

- 3 「リカバリディスク 1」をセットします。
- 4 「CD-ROM Drive」を選択し、【Enter】キーを押します。「リカバリメニュー」画面が表示されます。
- 5 「リカバリ」を選択し、【Enter】キーを押します。「リカバリディスク」画面が表示されます。
- 6 【Page Up】【Page Down】キーで説明をスクロールし、内容を確認して、【Y】キーを押します。
- 7 リカバリ方法により、次のどちらかの操作を行います。
 - 「C ドライブのみご購入時の状態に戻す (推奨)」を選択し、【Enter】キーを押します。
確認の画面が表示されます。手順 9 に進んでください。

重要

- ▶ C ドライブのデータはすべて失われます。あらかじめ必要なデータはバックアップしておいてください。
- 「領域を設定した後、C ドライブをご購入時の状態に戻す」を選択し、【Enter】キーを押します。
次のメニューが表示されます。次の手順に進んでください。

重要

▶ ハードディスク内のデータはすべて失われます。あらかじめ必要なデータはバックアップしておいてください。

8 領域の設定方法により、次のどちらかの操作を行います。

■「領域を任意に設定して戻す」を選択し、【Enter】キーを押します。

Cドライブの容量を任意に設定してください。【←】

【→】キーを押すと、100MB単位で、2区画までの領域を設定できます。

ハードディスク全体をCドライブとして設定したい場合は、【P】キーを押します。

領域を設定したら、【Enter】キーを押します。

■「領域をご購入時の設定にして戻す」を選択し、【Enter】キーを押します。

ハードディスク内の領域が、ご購入時の設定となります。

重要

▶ 現在の領域設定を変更しない場合や、ご購入時から領域の設定を変更していない場合も、ハードディスク内のすべてのデータが失われます。

9 【Y】キーを押します。

しばらくすると「復元しています...」というメッセージが表示され、ファイルのコピーが始まります。

「n枚目のメディアをドライブZ:に入れてください。」と表示されたら、「リカバリディスクn」をセットし、しばらくしてから【Y】キーを押します。「リカバリディスク」は、画面に表示されたものを、セットしてください。リカバリが終了すると「正常にソフトウェアの復元作業が行われました。」と表示されます。

10 CD-ROMを取り出してから、本パソコンの電源を切ります。

11 以降、「リカバリ終了後」を参照して操作を行ってください。

リカバリ終了後

本パソコンの電源を切った後、次の操作を行ってください。

- 1 周辺機器が取り付けられている場合は、すべて取り外します。
- 2 本パソコンの電源を入れます。
- 3 以降、「セットアップ」を参照してWindowsのセットアップを行ってください（→P.23）。

以上でリカバリは終了です。

お客様が実行したセキュリティ対策や各種設定内容は、実行前の状態に戻っています。セットアップ後、Windows Updateなどのセキュリティ対策を行ってください。また、必要に応じて、アプリケーションのインストールやアンインストール（→『ソフトウェアガイド』）、設定などを行ってください。詳しくは、「セットアップ後」（→P.24）をご覧ください。

再インストール操作 (Windows 2000)

OS、ドライバなどを再度インストールし、本パソコンをお使いになれる状態に戻す「再インストール」の方法を説明します。

POINT

▶ 再インストールに関する留意事項（→P.28）をよくお読みのうえ、再インストールを行ってください。

再インストール前の準備

再インストールを実行する前に、次の用意および設定を行ってください。

■必要なもの

- 「Windows 2000 Professional CD-ROM」
- 「ドライバズ CD」

■BIOS 設定について

BIOSの設定をご購入時の設定に戻します（→P.28）。

POINT

▶ BIOS セットアップの設定をご購入時と異なる設定にしていると、インストール時にエラーメッセージが表示されることがあります。

Windows 2000 の再インストール

本パソコンをお使いになれる状態に戻します。ハードディスクの領域の設定やファイルシステムの選択は、お使いの環境にあわせて選択してください。

重要

▶ 再インストールを行うと、インストール先に指定したドライブのファイルはすべて削除されます。必要に応じて事前にバックアップを行ってください。

- 1 「Windows 2000 Professional CD-ROM」をセットします。
- 2 本パソコンを再起動します。

- 3** 「FUJITSU」ロゴの下に文字が表示されている間に、【F12】キーを押します。
メニューが表示されます。
【F12】キーは軽く押しただけでは認識しない場合があります。しばらくの間押してください。
- 4** CD-ROM ドライブを選択し、【Enter】キーを押します。
ハードディスクに OS がインストールされていない場合は、「セットアップへようこそ」が表示されます。その場合は、手順 6 へ進んでください。
- 5** 「press any key to boot from CD...」と表示されている間に、任意のキーを押します。
しばらくすると、「セットアップへようこそ」が表示されます。
- 6** 【Enter】キーを押します。
「Windows 2000 ライセンス契約」が表示されます。
「使用許諾契約書」は、Windows を使用するうえでの契約を記述したものです。
- 7** 【Page Up】【Page Down】キーで説明をスクロールしてよく読み、【F8】キーを押します。
現在、ハードディスクにインストールされている OS を検出します。
OS が検出できない場合は、キーボードの選択画面が表示されます。手順 9 へ進んでください。

POINT

- ▶ 「使用許諾契約書」に同意しない場合は、【Esc】キーを押した後、メッセージに従って操作してください。
- 8** 【↑】【↓】キーで、再インストール先を選択し、【Esc】キーを押します。
キーボードの選択画面が表示されます。
- 9** 【半角/全角】キーを押してください。
確認の画面が表示されます。
- 10** 【Y】キーを押します。
コンピュータ上の既存のパーティションと未使用の領域が表示されます。
- 11** 画面の指示に従い、お使いになる環境にあわせてパーティションとファイルシステムの設定を行ってから、【Enter】キーを押してください。
「ディスクを検査しています。しばらくお待ちください。」と表示されます。
ディスクの検査後、Windows 2000 インストールフォルダにファイルのコピーを開始します。ディスクのサイズによっては時間がかかる場合があります。

POINT

- ▶ ディスクの検査の前に、確認の画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作を行ってください。

- 12** 「ここまでのセットアップは正常に終了しました。」というメッセージが表示され、パソコンが再起動します。
- 13** 以降、「Windows 2000 セットアップ」を参照して操作を行ってください（→P.31）。

Windows 2000 セットアップ

POINT

- ▶ セットアップ中に「Windows 2000 Professional CD-ROM 上のファイル `*****.***` が必要です。」というメッセージが表示されることがあります（*****.*** には courf.fon などのファイル名が入ります）。この場合は、「Windows 2000 Professional CD-ROM」をセットして、セットアップを続けてください。

- 1** Windows 2000 の再インストール後、本パソコンが再起動します。
しばらくすると、「Windows 2000 セットアップウィザードの開始」が表示されます。
- 2** 「次へ」をクリックします。
「デバイスのインストール」が表示され、コンピュータのデバイスを検出してインストールします。
インストール後、「地域」が表示されます。

POINT

- ▶ 「次へ」をクリックしないで一定の時間が過ぎると、「デバイスのインストール」を自動的に開始します。
- ▶ デバイスのインストール中は、画面がちらつくことがあります。
- 3** システムロケールやユーザーロケール、キーボードレイアウトを確認し、「次へ」をクリックします。
「ソフトウェアの個人用設定」が表示されます。

POINT

- ▶ システムロケールやユーザーロケール、キーボードレイアウトを変更する場合は、「カスタマイズ」をクリックし、設定してください。
- 4** 「名前」と「組織名」を入力し、「次へ」をクリックします。
「組織名」は省略できます。
「プロダクトキー」が表示されます。
- 5** 「プロダクトキー」を入力し、「次へ」をクリックします。
「コンピュータ名と Administrator のパスワード」が表示されます。

POINT

- ▶ プロダクトキーは、Windows 2000 Professional のパッケージ裏面に貼られている「Certificate of Authenticity」ラベルに記載されています。

- 6 「コンピュータ名」、「Administrator のパスワード」と「パスワードの確認入力」を入力し、「次へ」をクリックします。

「日付と時刻の設定」が表示されます。

POINT

- ▶ パスワードでは大文字／小文字が区別されます。

- 7 「日付と時刻」、「タイムゾーン」を確認し、「次へ」をクリックします。

「ネットワークの設定」が表示されます。

ネットワークの設定については、セットアップ完了後にネットワーク管理者に確認し、ご使用の環境に合わせて設定してください。

POINT

- ▶ 「ネットワークの設定」に続いて、「コンポーネントのインストール」が表示される場合があります。その場合は、「Windows 2000 セットアップウィザードの完了」が表示された後、手順10へ進んでください。

- 8 「標準設定」をクリックし、「次へ」をクリックします。「ワークグループまたはドメイン名」が表示されます。

POINT

- ▶ 「標準設定」では、次のネットワークコンポーネントがインストールされます。
 - ・ Microsoft ネットワーク用クライアント
 - ・ Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有
 - ・ インターネットプロトコル (TCP/IP)

- 9 「このコンピュータはネットワーク上にないか、ドメインのないネットワークに接続している」をクリックし、「次へ」をクリックします。

「コンポーネントのインストール」が表示されます。

インストール後、「最後のタスクの実行」が表示され、しばらくすると「Windows 2000 セットアップウィザードの完了」が表示されます。

- 10 CD-ROM を取り出してから、「完了」をクリックします。本パソコンが再起動します。再起動後、「ネットワーク識別ウィザードの開始」が表示されます。

重要

- ▶ 「ネットワーク識別ウィザード」ウィンドウが表示されたとき、「戻る」をクリックしないでください。
- ▶ 再設定が必要な場合は、設定終了後に該当箇所を修正してください。

- 11 「次へ」をクリックします。

「このコンピュータのユーザー」が表示されます。

- 12 「ユーザーはこのコンピュータを ...」をクリックし、「次へ」をクリックします。

「ネットワーク識別ウィザードの終了」が表示されます。

POINT

- ▶ 必ず「ユーザーはこのコンピュータを ...」を選択してください。「ユーザーはこのコンピュータを ...」以外を選択すると、セットアップが正常に行われなことがあります。

- 13 「完了」をクリックします。

「Windows へログオン」ウィンドウが表示されます。

- 14 手順6で入力したパスワードを入力し、「OK」をクリックします。

「ネットワークのプロパティ」ウィンドウが表示された場合は、「キャンセル」をクリックしてください。

「Windows 2000 の紹介」ウィンドウが表示されます。

これで、Windows のセットアップが完了しました。

ドライバとアプリケーションのインストール

Windows のインストールが終了したら、ドライバやアプリケーションなどをインストールしてください。

重要

- ▶ ドライバとアプリケーションは、必ず次に記載してある順に従ってインストールしてください。順序が異なると、インストールが正常に行われなくなる場合があります。
- ▶ 各ドライバやアプリケーションのインストールごとに、パソコンの再起動が必要となります。再起動を行わないで、インストールを続けると、システムが正常に動作しなくなることがあります。
- ▶ 「ドライバズ CD」セット時に「ドライバズ CD 検索」ウィンドウが表示されることがあります。その場合はウィンドウを閉じてから以下の手順に従ってインストールを行ってください。

POINT

- ▶ インストールの前に、管理者権限を持ったユーザーとしてログオンしておいてください。

■チップセットドライバのインストール

- 1 「ドライバズ CD」をセットします。
- 2 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
- 3 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。
[CD-ROMドライブ]:%other%csset845%setup.exe

この後は、メッセージに従って操作します。

■Internet Explorer 6 SP1 のインストール

- 1 「ドライバズ CD」をセットします。
- 2 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
- 3 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。
[CD-ROMドライブ]:%other%os%ie6sp1%2k%ie6setup.exe

この後は、メッセージに従って操作します。

■Media Player 9 のインストール

- 1 「ドライバズ CD」をセットします。
- 2 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
- 3 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。
[CD-ROMドライブ]:%other%os%mp9%2k
%mpsetup_2k_jpn.exe

この後は、メッセージに従って操作します。

インストール完了後、本パソコンを再起動してください。

■.NET Framework 1.1 のインストール

- 1 「ドライバズ CD」をセットします。
- 2 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
- 3 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。
[CD-ROMドライブ]:%other%os%dotnetfx%xp2k
%dotnetfx.exe

インストールの確認画面が表示されます。

- 4 「はい」をクリックします。
使用許諾契約書が表示されます。
- 5 「同意する」を選択し、「インストール」をクリックします。
コンポーネントのインストールが開始されます。
- 6 「Microsoft .NET Framework 1.1 のインストールが完了しました。」と表示されたら、「OK」をクリックします。
- 7 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。

- 8 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。
[CD-ROMドライブ]:%other%os%dotnetfx%xp2k
%langpack.exe
インストールの確認画面が表示されます。

- 9 「はい」をクリックします。
「.NET Framework 1.1 Japanese Language Pack」が表示されます。
- 10 「同意する」をクリックします。
コンポーネントのインストールが開始されます。
- 11 「Microsoft .NET Framework 1.1 Japanese Language Packのインストールが完了しました。」と表示されたら、「OK」をクリックします。
- 12 本パソコンを再起動します。

■DirectX9.0a のインストール

- 1 「ドライバズ CD」をセットします。
- 2 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
- 3 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。
[CD-ROMドライブ]:%other%os%dx9a.bat
「インストールしています。約 30 秒後に再起動させてください。」というメッセージが表示されます。
- 4 30 秒後、本パソコンを再起動します。

■修正モジュールの追加

- 1 「ドライバズ CD」をセットします。
- 2 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
- 3 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。
[CD-ROMドライブ]:%other%os%install1.bat
インストールの確認画面が表示されます。
- 4 【Y】キーを押し、【Enter】キーを押します。
インストールが完了したら、ウィンドウが自動的に閉じます。

POINT

- ▶ インストール途中で「バージョンの競合」が表示される場合は、「はい」をクリックしてインストールを続けてください。

- 5 本パソコンを再起動します。

重要

- ▶ 必ず本パソコンを再起動してください。
再起動しないで次のファイルを実行すると、システムが正常に動作しなくなることがあります。

以降、手順 2～5 を繰り返し、「install2.bat」～「install6.bat」を順にインストールしてください。

■ディスプレイドライバのインストール

- 1 「ドライバーズ CD」をセットします。
- 2 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
- 3 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。
[CD-ROMドライブ]:%display%ati7x00%2k%setup.exe

この後は、メッセージに従って操作します。

■サウンドドライバのインストール

- 1 「ドライバーズ CD」をセットします。
- 2 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
- 3 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。
[CD-ROMドライブ]:%sound%sigmatel%setup.exe

この後は、メッセージに従って操作します。
インストール完了後、本パソコンを再起動してください。

■LANドライバのインストール

インストール手順については、[CD-ROM ドライブ]
:%lan%8255x%2k%install.txt] をご覧ください。

インストール完了後、本パソコンを再起動してください。

■3モードフロッピーディスクドライバのインストール

- 1 「ドライバーズ CD」をセットします。
- 2 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
- 3 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。
[CD-ROMドライブ]:%other%3mode%2k%3fdsetup.exe
「インストールするドライバを選択してください」と表示されます。
- 4 「Fujitsu 3-mode floppy controller (Type 00)」を選択し、「インストール」をクリックします。
インストールの確認画面が表示されます。
- 5 「インストール」をクリックします。
ドライバのインストールが開始されます。
- 6 「ドライバのインストールが完了しました。」と表示されたら「OK」をクリックします。
- 7 本パソコンを再起動します。

■スマートカードリーダー/ライタードライバのインストール

インストール手順については、[CD-ROM ドライブ]
:%other%smart%install.txt] をご覧ください。

■キーボードレイアウトの変更

- 1 デスクトップの「マイコンピュータ」アイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。
「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 2 「ハードウェア」タブをクリックし、「デバイスマネージャ」をクリックします。
「デバイスマネージャ」ウィンドウが表示されます。

- 3 「キーボード」をダブルクリックし、「101/102 英語キーボードまたは Microsoft Natural PS/2 キーボード」を右クリックし、「プロパティ」をクリックします。
「101/102 英語キーボードまたは Microsoft Natural PS/2 キーボードのプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 4 「ドライバ」タブの「ドライバの更新」をクリックします。
「デバイスドライバのアップグレードウィザード」ウィンドウが表示されます。
- 5 「次へ」をクリックします。
- 6 「このデバイスの既知のドライバを表示して、その一覧から選択する」を選択し、「次へ」をクリックします。
- 7 「このデバイスクラスのハードウェアをすべて表示する」をクリックし、「モデル」の一覧から「日本語 PS/2 キーボード (106/109 キー Ctrl + 英数)」を選択し、「次へ」をクリックします。
- 8 「ドライバの更新警告」画面が表示されたら「はい」をクリックします。
- 9 「デバイス ドライバのインストールの開始」が表示されたら、「次へ」をクリックします。
- 10 「完了」をクリックします。
- 11 「閉じる」をクリックします。
- 12 再起動メッセージが表示されたら、「はい」をクリックします。
本パソコンが再起動します。

■OEM情報のインストール

- 1 「ドライバーズ CD」をセットします。
- 2 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
- 3 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。
[CD-ROMドライブ]:%other%oem%oemcopy.bat
- 4 「続行するには何かキーを押してください ...」と表示されたら、任意のキーを押してください。
OEM情報のインストールが終了すると、コマンドプロンプトウィンドウが自動的に閉じます。
- 5 本パソコンを再起動します。

お使いのディスプレイによっては、「FMV ディスプレイ装置 INF ファイル」のインストールが必要になる場合があります。
[CD-ROM ドライブ]:%other%monitor%2k%install.txt] をご覧になり、必要に応じて、インストールを行ってください。

再インストール終了後

再インストール終了後、お使いの環境にあわせて、次の設定を行ってください。

- 「Windows Update」を実行し、Windows の環境を最新の状態にすることをお勧めします。
「Windows Update」を実行することで、不具合のあるプロ

グラムが修正されるほか、多くのウイルスや不正アクセスからパソコンを守ることができます。実行にあたっては、システム管理者の指示に従ってください。

「Windows Update」を実行するためには、インターネットに接続できる環境が必要になります。

「Windows Update」の実行方法については、「Windows Update について」(→P.35)をご覧ください。

その他、添付アプリケーションのインストール手順や各種設定については、『ソフトウェアガイド』の「ソフトウェア」-「各ソフトウェアの紹介」をご覧ください。

Windows Update について

「Windows Update」は、Windows を常に最新の状態に整えるサポート機能です。「Windows Update」を実行すると、Windows やソフトウェアなどを最新の状態に更新、修正できます。また、最新の状態にすることにより、ウイルスが侵入したり、不正アクセスされたりするセキュリティホールをなくすための対策もされます。

POINT

- ▶ Windows Update はシステム管理者の指示に従って行ってください。システム管理者は、以下の点にご注意ください。
 - ・「重要な更新」については、適用されることをお勧めします。
 - ・「ドライバの更新」は適用しないでください。ただしお客さまが追加されたデバイスについてはお客様の判断で適用してください。
 - ・自動更新機能を使うと、Windows Update を自動的に行うように設定をすることができます。設定方法については、Windows のヘルプをご覧ください。出荷時は「コンピュータを常に最新の状態に保つ」が ON になっています。必要に応じて設定を変更してください。
- ▶ 「Windows Update」は、Microsoft Corporation が提供するサポート機能です。「Windows Update」で提供されるプログラムについては、弊社がその内容や動作、および実施後のパソコンの動作を保証するものではありませんのでご了承ください。

「Windows Update」を実行する

POINT

- ▶ 「Windows Update」を実行するためには、インターネットに接続できる環境が必要になります。ネットワーク管理者に確認し、あらかじめ必要な設定をしてから、次の操作を行ってください。
- ▶ インターネットに接続しただけで感染するウイルスなどもあります。Windows XP の場合、ご購入時の設定は「Windows ファイアウォール」が有効になっています。「Windows ファイアウォール」は、有効にして使用することをお勧めします。

■Windows XP の場合

- 1 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「Windows Update」の順にクリックします。
「Windows Update」の画面が表示されます。
- 2 「カスタムインストール」をクリックします。
パソコンの状態を診断し、更新情報を取得します。
- 3 「更新プログラムのインストール」をクリックします。
更新情報のリストが表示されます。

POINT

- ▶ インターネットへ情報を送信するにあたっての注意が表示されたら、「はい」をクリックします。
- 4 内容を確認し、更新したくない項目がある場合はその項目のチェックを外します。
通常は、「重要な更新」についてはすべての項目を更新することをお勧めします。
 - 5 「インストール」をクリックします。
修正プログラムがインストールされます。
更新が完了します。

■Windows 2000 の場合

- 1 「スタート」ボタン→「Windows Update」をクリックします。
「Windows Update」の画面が表示されます。
- 2 「更新をスキャンする」をクリックします。
パソコンの状態を診断し、更新情報を取得します。
- 3 「更新の確認とインストール」をクリックします。
更新情報のリストが表示されます。

POINT

- ▶ インターネットへ情報を送信するにあたっての注意が表示されたら、「はい」をクリックします。

- 4** 内容を確認し、更新したくない項目がある場合はその項目にある「削除」をクリックします。
- 通常は、「重要な更新」についてはすべての項目を更新することをお勧めします。

- 5** 「今すぐインストールする」をクリックします。

修正プログラムがインストールされます。

更新が完了します。

POINT

- ▶ ほかの修正プログラムとは別にインストールが必要な修正プログラムがあると表示されたら、画面に従って進みます。インストール終了後は再度手順 1 から「Windows Update」を実行します。
- 修正プログラムの使用許諾契約が表示されたら、内容を確認し、「同意します」をクリックします。
- Windows の再起動を要求する画面が表示されたら、「OK」をクリックして再起動します。

お問い合わせ先

■お問い合わせの前に

あらかじめ次の項目について確認してください。

□モデル名の確認

パソコン本体のラベルに記載されているモデル名を確認してください。

□用意するもの

本パソコンの修理を依頼する場合は、必ず次のものを添付してください。

●Windows XP の場合

「リカバリディスク」

●Windows 2000 の場合

「Windows 2000 Professional CD-ROM」

「ドライバーズ CD」

□本パソコンの施錠について

パソコン本体に施錠している場合は、本パソコンの修理を依頼する前に、あらかじめ解錠してください。

重要

- ▶ 施錠する場合は、お客様の責任で、本体カバーキーを紛失しないようにしてください。
- ▶ 本体カバーキーを紛失した場合は、引取修理による本体カバーの交換が必要となります。「富士通ハードウェア修理相談センター」にご連絡ください。
なお、保証期間にかかわらず、鍵の紛失による本体カバーの交換は有償となります。
- ▶ 本体カバーキーを紛失した場合は、訪問修理の際も即日修理ができません。
引取修理になりますので、あらかじめご了承ください。

■部品送付による修理の場合

良品部品をお届け後、窓口よりお届けの確認と不良部品の引取日程などについてご連絡をいれさせていただきます。
あらかじめご了承ください。

■連絡先

下記の連絡先へお問い合わせください。

こんなときには	こちらへ
・ 添付品の不備	ご購入元にご相談ください。
・ 故障かなと思われたとき	『FMVマニュアル』の「ソフトウェアガイド」－「トラブルシューティング」をご覧ください。 それでも解決できない場合は、ご購入元にご相談いただくか、または「富士通ハードウェア修理センター」 ^{注1} にお問い合わせください。
・ FM シリーズの技術的なご質問・ご相談 ・ 本パソコンにインストールされているソフトウェアのお問い合わせ	・ 『FMV マニュアル』の「ソフトウェアガイド」をご覧ください。 ・ ソフトウェアのお問い合わせにつきましては、『FMV マニュアル』の「ソフトウェアガイド」－「トラブルシューティング」－「お問い合わせ先」をご覧ください。 それでも不明な点がございましたら、「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」 ^{注2} にお問い合わせください。

注1：「富士通ハードウェア修理相談センター」

- ・ フリーダイヤル：0120-422-297
- ・ 受付時間：9:00～17:00
(土曜・日曜・祝日・年末年始を除く)

注2：「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」

- ・ フリーダイヤル：0120-950-222
- ・ 受付時間：9:00～17:00
(土曜・日曜・祝日およびシステムメンテナンス日を除く)

- ・ おかけ間違いのないよう、ご注意ください
- ・ 両窓口ともダイヤル後、音声ガイダンスに従い、ボタン操作を行ってください。お客様の相談内容によって、各窓口へご案内いたします。

Memo _____

Memo

FMV-7306FA9/7266FA9

取扱説明書
B5FH-9961-02-00

発行日 2004年11月
発行責任 富士通株式会社

Printed in Japan

- 本書の内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- 本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。
- 落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。



本製品はJEITA「PCグリーンラベル制度」の
審査基準(2004年度版)を満たしています。
詳細は、Webサイト <http://www.jeita.or.jp>
をご覧ください。



古紙配合率100%再生紙を使用しています。



大豆インキで印刷しています。

このマニュアルはリサイクルに配慮して製本されています。
不要になった際は、回収・リサイクルに出してください。



* B 5 F H 9 9 6 1 0 2 *